

(案)

サッカーのまち藤枝 ドリームプラン2026

～ 趴球都市NEXT100 SINCE1924 ～



2026-2030

令和8年3月



サッカーのまち藤枝ドリームプラン2026

～蹴球都市NEXT100 SINCE1924～

第1章 基本的な考え方

1 計画策定の趣旨	P.	1
2 計画の位置づけ	P.	2
3 計画の期間	P.	2
4 計画策定の組織・体制	P.	3
5 ローカルSDGs（持続可能な開発目標）との関係	P.	4

第2章 現状と課題

1 これまでの取り組みと成果	P.	5
2 藤枝市のサッカーを取り巻く現状と課題	P.	9

第3章 計画の方向と展開

1 基本理念と目標	P.	10
2 施策体系	P.	14
3 施策の展開	P.	15

第4章 計画の推進

1 計画の進捗状況の管理・評価	P.	22
2 関係団体等との協働	P.	22
3 第6次藤枝市総合計画（後期計画）に位置づけた成果指標	P.	22

«参考資料»

1 「サッカーのまち藤枝ドリームプラン」見直しのためのアンケート（結果）	P.	23
2 計画策定組織名簿	P.	35
3 令和7年度藤枝市サッカー協会所属チーム	P.	38
4 サッカーのまち藤枝 栄光の歴史	P.	40

第Ⅰ章 基本的な考え方

Ⅰ 計画策定の趣旨

本市のサッカーの歴史は、大正13年（1924年）に静岡県立志太中学校（現・藤枝東高校）で「蹴球」が校技に定められて以来、全国大会での輝かしい実績や多くの優秀な人材の輩出を通じ「サッカーのまち」として先駆的な役割を果たすとともに令和6年（2024年）には、サッカーのまち100周年を迎えました。市民のサッカーへの関心は非常に高く、競技者に限らず多くの市民が、日常的にサッカーに親しみ、サッカーはスポーツの枠を超えた市の文化として根づいています。

このサッカー文化を市の個性として位置づけ、平成21年（2009年）には「サッカーのまち藤枝ドリームプラン」を策定し、「する」「みる」「支える」「育てる」「交流する」「発信する」という多様な観点から、サッカー振興、経済の活性化、青少年の健全育成、ふるさと意識の醸成地域間・世代間交流を戦略的に推進してきました。

第3期計画である「サッカーのまち藤枝ドリームプラン2019」の計画期間満了を受け、第6次藤枝市総合計画の施策体系に位置付けられた「サッカーを核としたまちづくりの推進」に基づき社会・経済環境の変化に即した施策を推進していきます。

100年にわたり培われたサッカー文化は市民の誇りであり、その文化を次世代へ確実に継承し新たな夢が次々と芽吹くよう、歴史への敬意と誇りを土台に未来への夢と希望を掲げ推進していきます。

2020年東京オリンピック・パラリンピックの開催や本市出身の元サッカー日本代表キャプテン長谷部誠氏の現役引退、藤枝MYFCのJ2での躍進、藤枝順心高校の全日本高等学校女子サッカー選手権大会史上初3連覇の快挙など、本市サッカーを取り巻く動向や環境の変化、社会・経済情勢などを踏まえ、「サッカーを核としたまちづくり」を組織的かつ戦略的に推進するため新たに策定しました。



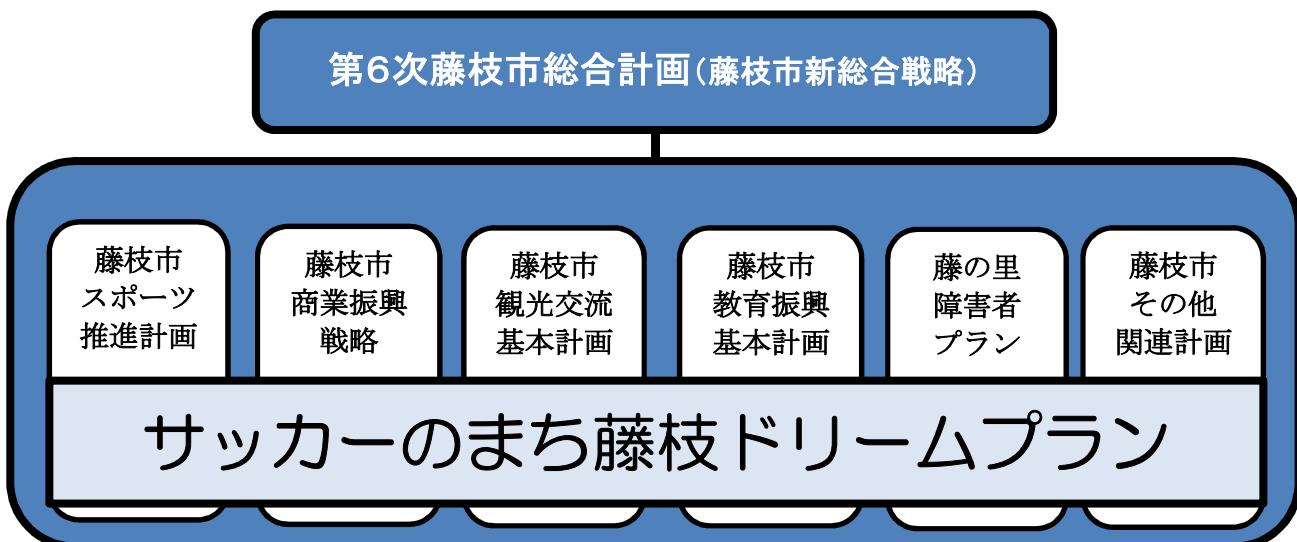
サッカーを核としたまちづくりのイメージ

| ページ

2 計画の位置づけ

本計画は、「第6次藤枝市総合計画（藤枝市新総合戦略）」を基本に策定しました。サッカー競技者を対象とした、サッカーの普及・振興のみを目的とするのではなく、市の個性の一つとしてサッカーを位置づけ、商業、観光、教育など、あらゆる施策に「サッカー」を取り入れ、まちづくりの核としていくものです。

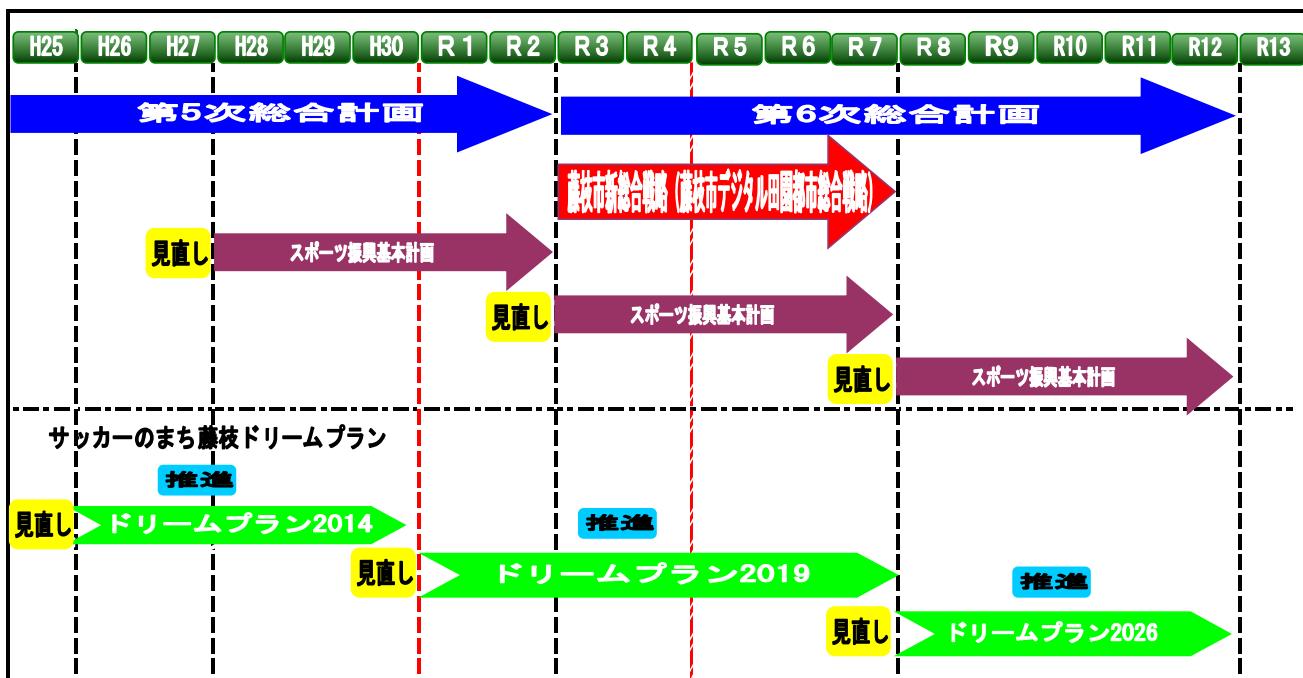
「藤枝市スポーツ推進計画（令和8年（2026年）3月策定）」を含め、他の計画との整合を図りつつ、全ての計画を横断し、総合的な観点から柔軟性を持った計画の推進に努めます。



3 計画の期間

本計画の期間は、長期的ビジョンを持ちながらも、社会情勢の変動等に柔軟に対応し、また本計画の上位計画となる藤枝市総合計画との整合を図るため、令和8年度（2026年度）から令和12年度（2030年度）までの5カ年とします。

なお、施策の実施に際して適宜その進捗状況の把握を行い、必要に応じて見直しを行います。

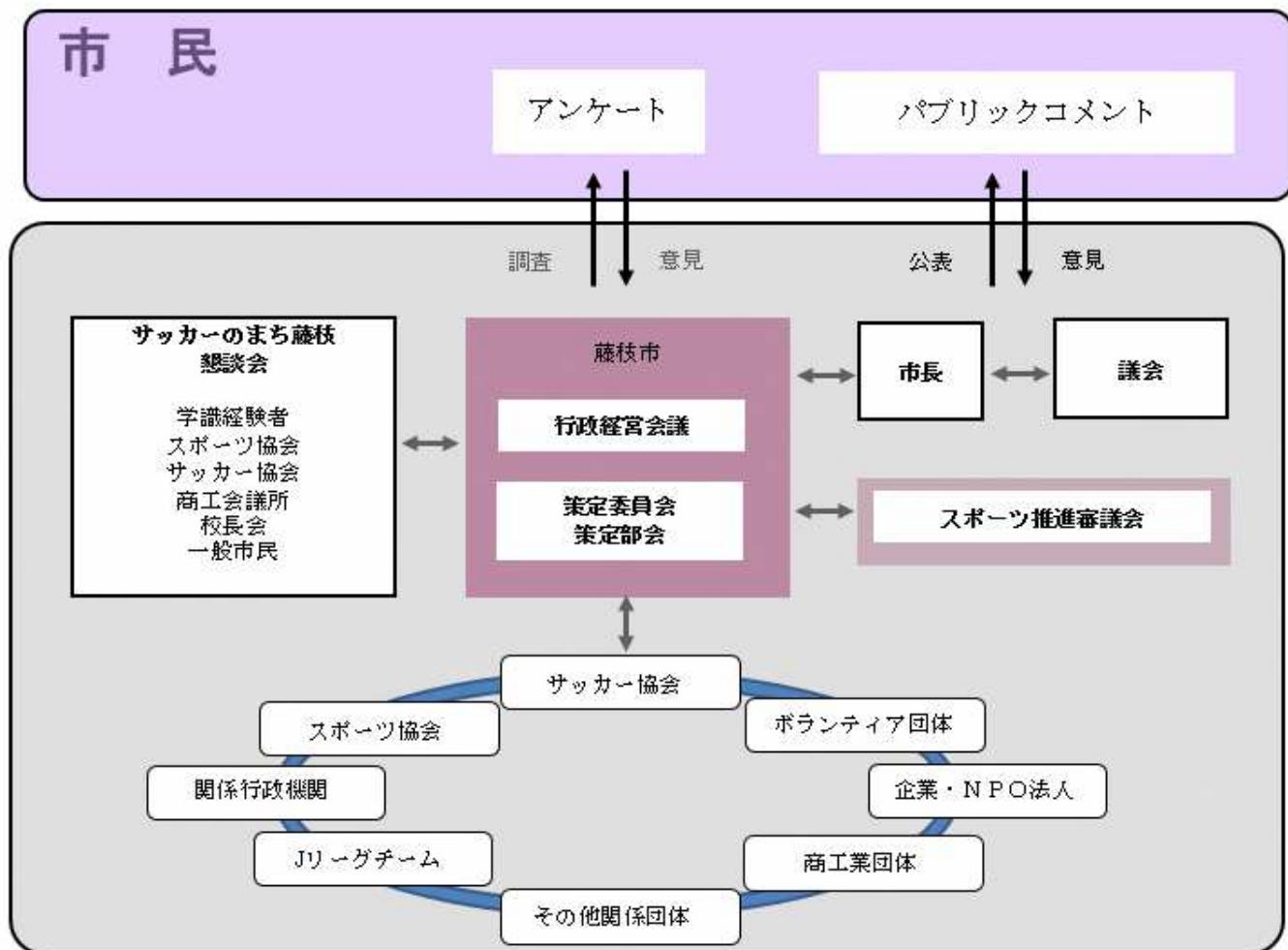


4 計画策定の組織・体制

計画策定においては、市民アンケートやパブリックコメントの実施、関係団体等からの多様な意見やアイデアを把握し、施策に反映できるように努めました。

まず、これまでの取り組みを判断する一つの視点として無作為抽出による市民アンケートを実施するとともに、各種施策の検証を行いました。

それを受け、庁内機関各課を構成員とする策定委員会及び策定部会を設置し施策の見直しを行いました。策定過程においては、広く外部団体や市民の意見を吸い上げ、計画に反映させていくために、関係機関や一般市民で組織するサッカーのまち藤枝懇談会やスポーツ推進審議会を開催し、計画案の経過報告及び意見聴取を実施し、計画を策定しました。



5 ローカルSDGs（持続可能な開発目標）との関係

SDGsは、持続可能な世界の発展を実現するため国連サミットで採択された、令和12年（2030年）までに達成すべき国際目標です。17の長期的なビジョン（ゴール）と169の具体的な開発目標（ターゲット）で構成され、貧困の撲滅やジェンダーの平等など、「誰一人取り残さない」社会を目指しています。

本市では、SDGsの実現に向けて地方自治体として取り組むべき目標を、本市独自のローカルSDGsとして掲げており、SDGsの17のゴールに貢献する本市独自の目標を設定し、地方創生の一層の充実・深化とともに、その達成を目指しています。本計画に掲げている施策・事業についても、SDGsの17のゴールと対応させて推進し、広く発信します。

本計画の基本的な方針に関連するローカルSDGsのゴールは、以下の7項目です。

3 誰もが健康で元気なまちをつくる	4 質の高い教育と学び続けられる環境をつくる	5 女性が集まり活躍するまちをつくる	8 力強い地域産業と多様な働き方を生み出す	9 変革を生み出す産業基盤をつくる	10 多文化共生のまちをつくる	17 あらゆる主体が協働・協奏するまちをつくる
-------------------	------------------------	--------------------	-----------------------	-------------------	-----------------	-------------------------



第2章 現状と課題

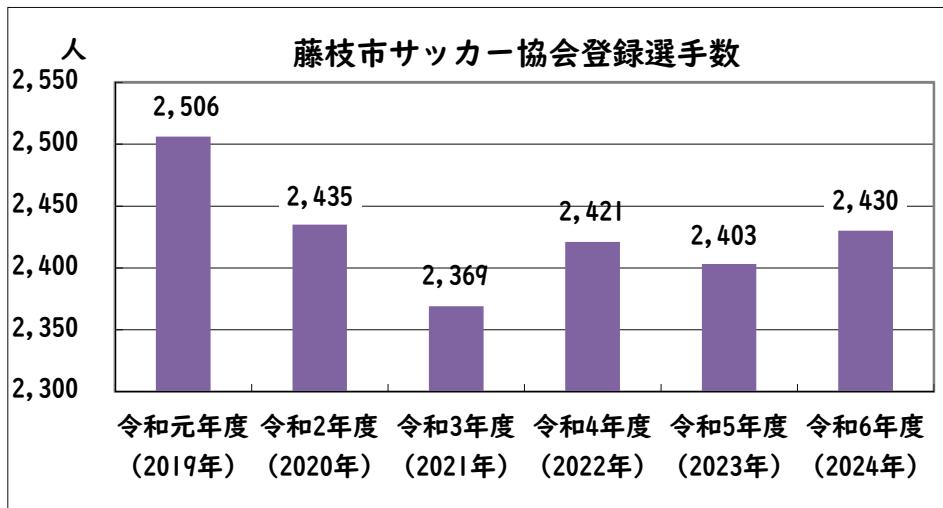
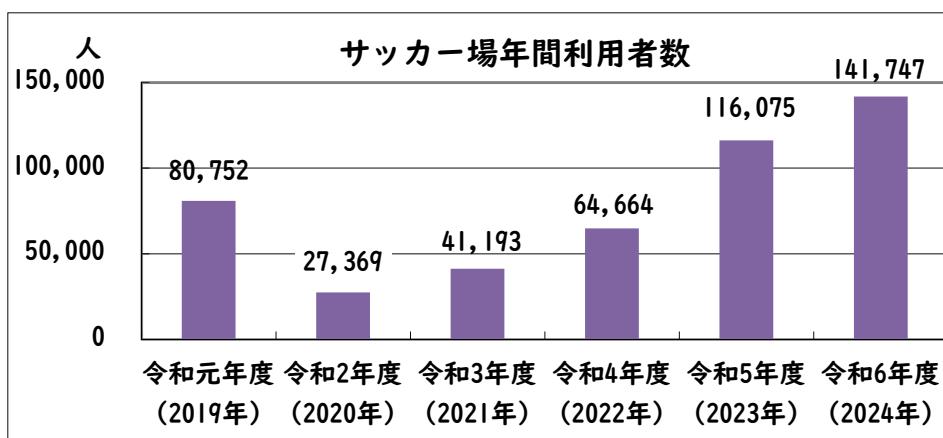
I これまでの取り組みと成果

平成31年（2019年）3月に策定した「サッカーのまち藤枝ドリームプラン2019」に基づき、令和元年度（2019年度）から令和7年度（2025年度）まで、より一層のサッカーの振興とともに、経済の活性化や青少年の健全育成、ふるさと意識の醸成、地域間・世代間交流など、サッカーを多様な観点から捉えた取り組みを行いました。

■ 「する」環境づくり

私たちは、市民一人ひとりがサッカーをより身近に感じ、日常の中で気軽に親しむことができる環境の整備を進めるとともに、多くの市民にサッカー場を利用する機会を提供することを目標として、各種施策を展開しました。

- ◇ こどもからシニアまで幅広い世代を対象に、障害者の大会を含む多様な大会を積極的に誘致した結果、年間を通じて各種大会が開催されるとともに、市内チームの参加拡大につながりました。
- ◇ 女子サッカーの活動推進として、地域おこし協力隊とともに、幼いこどもから大人まで参加できる女子サッカーの環境づくりを推進しました。
- ◇ 令和6年（2024年）は「藤枝サッカーのまち100周年」の記念の年にあたり、これを機に多様な市民参加型のイベントを展開してきました。



※ 「する」環境づくりが充実することで、サッカー場年間利用者数や藤枝市サッカー協会登録選手数が増加する

第2章 現状と課題

I これまでの取り組みと成果

■ 「みる」環境づくり

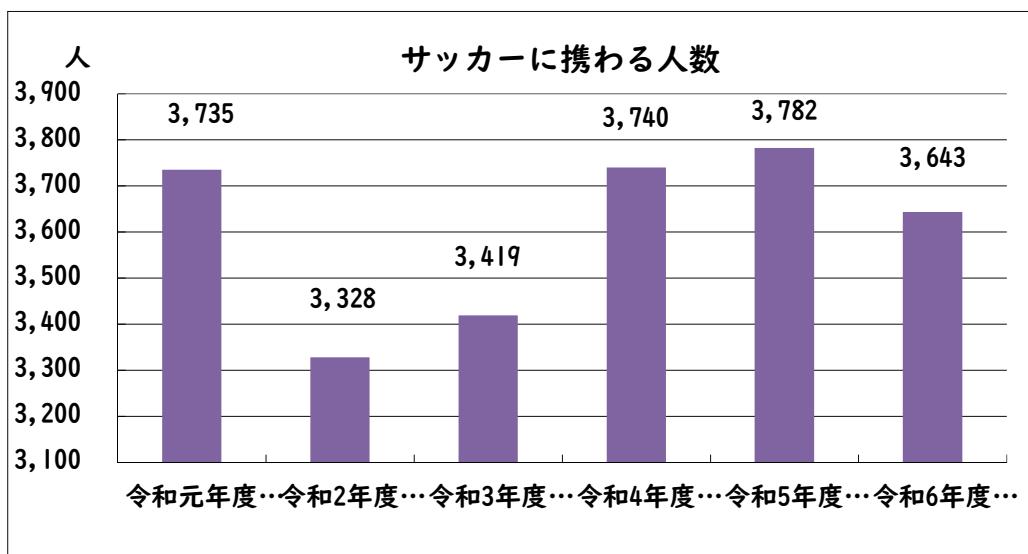
トップレベルのプレーをみる機会やみる施設としての環境整備を目標に施策を展開しました。

- ◇ 誘致活動を積極的に進めた結果、高校サッカー選手権静岡県大会、皇后杯全日本女子サッカー選手権大会、全国シニアサッカー大会、SBSカップ国際ユースサッカーなど、各年代のトップレベルの大会が本市で開催され、市民が高いレベルのプレーをみる機会が大きく広がりました。
- ◇ 女子W杯や藤枝順心高校の全国大会決勝戦などのパブリックビューイングを開催し、市民が本市ゆかりの選手やチームの活躍を見ることが出来る機会を創出しました。
- ◇ 総合運動公園サッカー場において、バックスタンドの芝生席を改修し、誰もが安全・安心に観戦できるスタジアムへとリニューアルしました。これにより、収容人数は約4千人増の約1万人へと拡大し、J2基準を満たすスタジアムとなりました。

■ 「支える」環境づくり

全国大会に出場するチームや本市にゆかりある選手、藤枝市を含む志太榛原地域の4市2町をホームタウンとする藤枝MYFCの応援体制を整えてきました。また、藤枝サッカーを支える環境整備や来訪者へのおもてなし環境整備を目標として施策を展開しました。

- ◇ なでしこジャパン（女子日本代表）に選出された藤枝順心高校サッカー部出身の杉田妃和選手、千葉玲海菜選手の応援企画（横断幕やパブリックビューイングなど）を実施し市民一体となって応援を実施しました。
- ◇ 藤枝順心高校サッカー部が全日本高校女子サッカー選手権で、史上初3連覇、大会通算8度目の優勝を達成したことにより、凱旋パレードを実施しました。
- ◇ J2に昇格した藤枝MYFCのホームゲームの会場調整や試合情報の発信などを行い市民に愛され、地域に根ざしたチームとなるよう支援を行いました。
- ◇ 全国PK選手権大会をはじめ、全国シニアサッカー大会など様々なサッカー大会の開催に係る事業費への助成や日程調整などを行い、継続して開催されるように支援しました。
- ◇ 本市で行われる全国規模のサッカー大会開催時には、観光協会など関係機関と連携し特産品の販売やPRなど、来訪者へのおもてなしを実施しました。



※サッカーに携わる人数とは・・・サッカー協会に登録されている選手、指導資格保持者、審判資格保持者

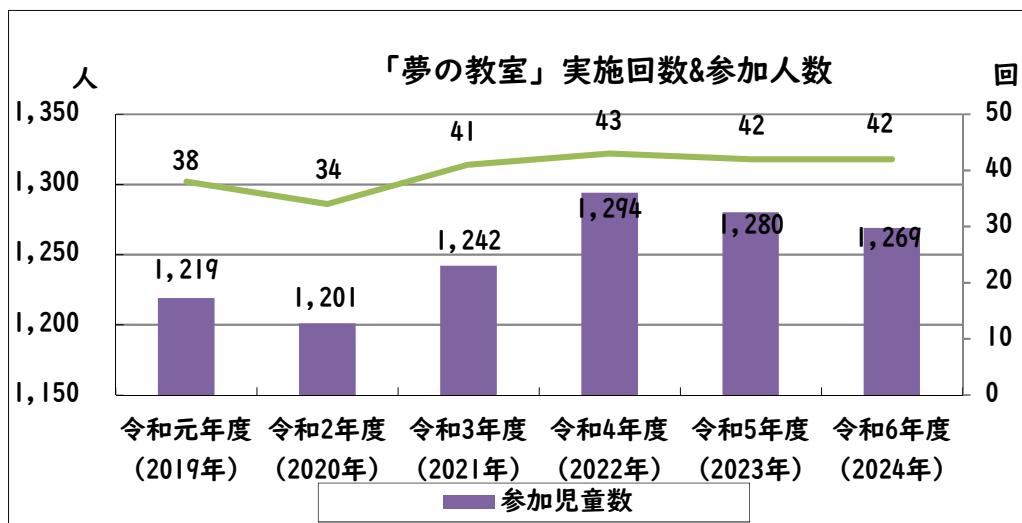
第2章 現状と課題

I これまでの取り組みと成果

■ 「育てる」環境づくり

藤枝が誇れる人を育てるることを目標に施策を展開しました。

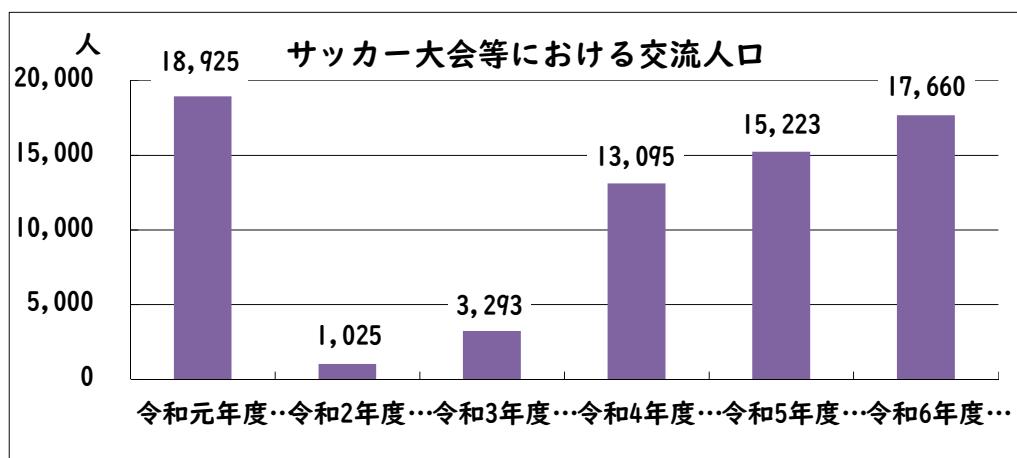
- ◇ 公益財団法人日本サッカー協会と連携したJFAこころのプロジェクト「夢の教室」を開催し、サッカー選手を始めとする様々な種目のトップアスリートによる実体験に基づく授業を行い、夢を持つことの大切さなどをこどもに伝え、藤枝が誇れる人の育成に努めました。
- ◇ 市サッカー協会と市が、目標を共有し、役割を明確にする中で、世界で活躍できる選手育成を目指したトップアスリート育成事業を実施し、選手・指導者の育成を図りました。
- ◇ 宝くじスポーツフェアドリームサッカーin藤枝を開催し、サッカー教室や指導者クリニックを行うなど選手だけでなく、指導者の育成にも寄与してきました。



■ 「交流する」環境づくり

国内外の人々と交流の輪を広げることや、世代間・地域間の結びつきを推進する施策を展開してきました。

- ◇ 藤枝JC杯争奪全国少年サッカー大会や市長杯争奪ジュニアユースサッカー大会における友好都市との交流をはじめ、全国PK選手権大会においては、海外から姉妹都市の楊州市や産業や教育で交流のある台南市など、サッカーによる交流の拡大を図りました。
- ◇ 全国知的障害特別支援学校高等部サッカー選手権大会の開催やブラインドサッカーなどの障害者サッカーの啓発を行い、障害者との交流機会を創出しました。
- ◇ 全国シニアサッカー大会や自治体職員シニアサッカーフェスティバルでは、ゲストを招き、盛大にレセプションを開催し、選手同士の交流を創出しました。



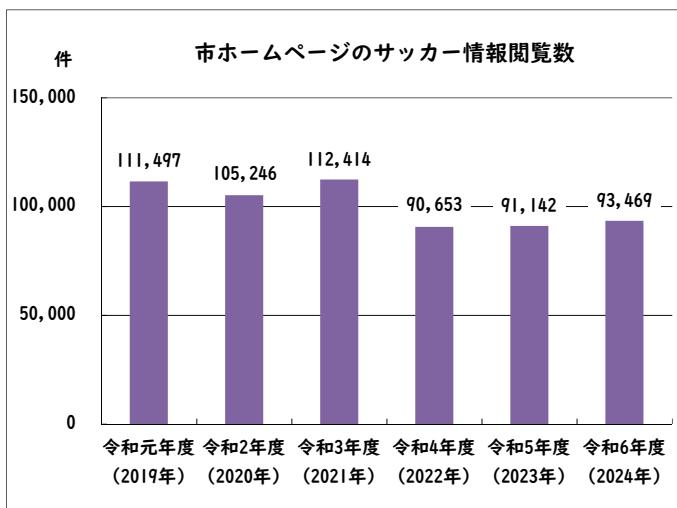
第2章 現状と課題

I これまでの取り組みと成果

■ 「発信する」環境づくり

サッカーのまち藤枝の歴史や大会等の情報を発信し、サッカーのまち藤枝を国内外にPRすることを目標に施策を展開してきました。

- ◇ 令和6年（2024年）は、「藤枝サッカーのまち100周年」の節目にあたり、特設サッカーミュージアムを開設し、市内外にサッカーのまち藤枝を広くPRしました。
- ◇ サッカー元日本代表の長谷部誠氏をモデルとしたサッカーのまち藤枝PRポスターを作成し、市内で開催される全国規模の大会や試合の情報発信を行いました。
- ◇ 全日本高等学校女子サッカー選手権大会において、3年連続8度目の優勝を果たした藤枝順心高等学校サッカー部の優勝報告会及び優勝パレードを実施し、市を挙げて祝福するとともに、「サッカーのまち藤枝」を全国にPRしました。
- ◇ 藤枝市の玄関口である藤枝駅に、「サッカーのまちシティ・ドレッシング」を実施し「藤枝サッカーのまち100周年」を広くPRしました。



2 藤枝市のサッカーを取り巻く現状と課題

平成31年（2019年）3月に策定した「サッカーのまち藤枝ドリームプラン2019」に基づき、「する」「みる」「支える」「育てる」「交流する」「発信する」の6つの環境づくりを進めるため、各種施策に取り組んできました。これまでの取り組みについて総括する中で、サッカーのまち藤枝懇談会からの意見やアンケート調査から以下の点が課題として挙げられます。

■ 「する」環境づくり

- ◇ 全国規模の大会をはじめ、各種競技会が活発に開催されている一方で、競技施設の利用が大会参加者などに事実上限定されており、一般市民が日常的に、あるいは大会期間外に自由に利用することが難しい状況が続いています。さらに、女性や障害者を含む多様な人々が、「サッカーをしたい」と考えても、実際にプレーできる環境が十分に整っていないという課題も顕在化しています。より幅広い世代・属性の人々がサッカーに親しみ、継続的に参加できる環境を計画的に整備していくことが喫緊の課題となっています。

■ 「みる」環境づくり

- ◇ 藤枝MYFCのJ2リーグ昇格により、トップレベルの試合を数多く観戦できるようになり、藤枝総合運動公園サッカー場周辺は大きな活気に包まれています。また、誘致活動により、高校サッカーやSBSカップ国際ユースサッカーなど、各年代のトップレベルの試合も行われ、「みる」環境を創出しました。一方で、サッカー以外の用途で施設が十分に活用されておらず、イベントや地域交流の拠点としての機能が限定的です。サッカーを見て楽しむ方はもちろん、競技に親しみのない方にとっても気軽に立ち寄れる多目的で開かれた環境づくりを進めることができます。

■ 「支える」環境づくり

- ◇ 本市では多彩な大会が開催されるなか、選手はもちろん、応援に訪れる方々にも満足していただけるよう、市民や各種団体、事業者が一体となったおもてなし体制の一層の充実が不可欠です。あわせて、J2リーグ昇格以降、市民の関心が着実に高まっている藤枝MYFCについては、これまで以上に地域に根差し、世代を超えて愛されるクラブへと成長できるよう、継続的かつ実効性のある支援や連携の強化が求められています。

■ 「育てる」環境づくり

- ◇ 「夢の教室」の取り組みを一層充実させ、こどもたちの自立心を育み、他者と協働できる社会性を備えた、元気で魅力あふれる藤枝のこどもを育成することが求められています。また、サッカーによるWell-being向上と、藤枝から世界へと羽ばたき、国際舞台で実力を発揮できるサッカー選手を継続的に輩出していくことも、重要な目標として位置づけられています。

■ 「交流する」環境づくり

- ◇ サッカー大会や全国PK選手権大会を舞台に、友好都市・姉妹都市などとの都市間交流が展開されています。さらに、「サッカーのまち藤枝」には活用可能な資源（環境）が数多くそろっており、こうした機会を的確に捉え、効果的に生かしていく積極的な取り組みが求められます。

■ 「発信する」環境づくり

- ◇ これまで私たちは、多様なチャンスを活かし、「サッカーのまち藤枝」というブランドを国内外へ幅広く発信してきました。こうした中、シティプロモーションの視点からはより高い効果を生み、藤枝ならではの魅力と独自性を際立たせる情報発信を一層強化していくことが求められています。

第3章 計画の方向と展開

Ⅰ 基本理念と目標

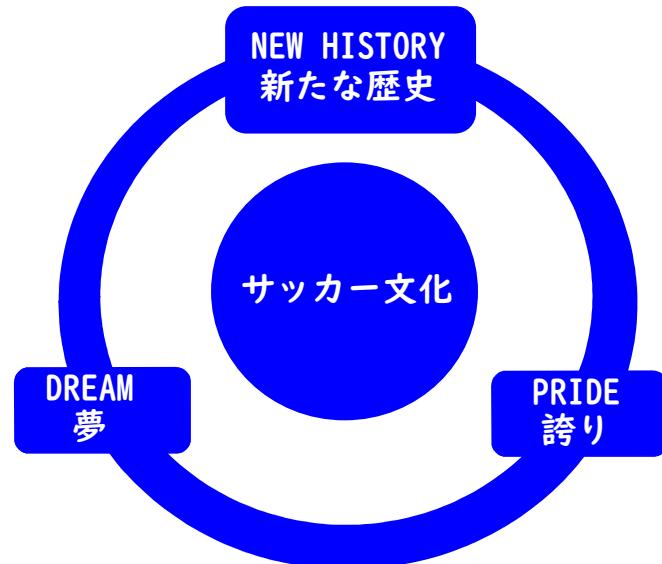
(1) 基本理念

～ 地域と共に 新たな歴史を繋ぎ、誇り、夢溢れる 「サッカーのまち藤枝」 ～

藤枝のサッカーが歩んできた歴史と、そこから育まれてきた誇りは、確かな連続性をもって次の世代へ受け継がれています。こどもたちは大きな夢を胸に抱き、ひとつひとつの歩みを重ねています。こうした歩みの積み重ねが新たな歴史の頁となって刻まれ、本市のサッカー文化は地域の暮らしに定着し、着実かつ力強く成熟してきました。

基本理念では、藤枝のサッカーが積み重ねてきた長い歴史への敬意と、その歴史に支えられた誇りを搖るぎない土台としつつ、夢と希望を明確に掲げています。単なる「サッカーのまち」という枠にとどまらず、長い歴史に裏打ちされた価値を前面に打ち出すため、平成31年（2019年）には、「蹴球都市」の名を高らかに宣言しました。これにより、地域アイデンティティとしての蹴球文化が広く共有され、都市ブランドとしての姿がより鮮明になりました。そして私たちは、この旗印のもとで、「NEXT100年」に向けて、力強く歩み始めています。

また、社会・生活環境の変化が一層加速する現代において、本市のサッカー文化は、これまでの歴史を礎に、私たち自らが主体となって新たな歴史を創出し、誇りと夢を軸に持続可能な発展へとつなげていきます。こどもからシニアまでのあらゆる世代で、日常生活の様々な場面において「新たな歴史・誇り・夢」を実感できるよう連続性と発展性を両立させた施策を、丁寧かつ大胆な発想のもと計画的に展開します。



(2) 3つのビジョン

理念を基に、以下の3つのビジョンを設定します。

○こどもの夢に溢れるサッカーのまちづくり

こどもの夢の実現が藤枝の未来につながることから、こどもに夢や目標を持つことを促す環境づくりや、地域のサッカーチームやクラブを育成していきます。

○多世代、多文化共生のサッカーのまちづくり

年齢や性別、国籍などの隔たりなく、すべての人々がサッカーを楽しむ環境づくりをすすめ新たなジャンルのサッカーへの取組み、国際交流等を行っていきます。

○藤枝MYFCと連携したサッカーのまちづくり

藤枝MYFCとともに、スポーツを通じた健康促進、地域住民の文化とコミュニティ形成、地域経済の活性化、持続可能なまちづくりを行っていきます。

（3）施策展開の3つの視点

各種施策の展開においては、以下の3つに視点を置き、能動的に取り組みます。

○個性あるまちづくり

私たちは、サッカーを中心に据えたまちづくりを進めるにあたり、単に競技の普及や振興にとどまらず、商業の活性化、観光資源の磨き上げ、次世代の教育・人材育成といった多面的な領域と連動させ、総合的な施策展開に取り組みます。地域経済の循環や交流人口の拡大こどもたちの学びと健やかな成長にもつながる仕組みを整え、サッカーが暮らしの質を高める原動力となることを目指します。また、「サッカーのまち」を掲げる他地域の取り組みを単になぞるのではなく、長年培われてきた伝統と誇りを地域資産とし、文化・産業・教育が相互に響き合う独自の都市環境を創出します。

○情報発信とサッカー文化の醸成

「サッカーのまち」として積み重ねてきた数々の先駆的な取り組みや、長年にわたり築き上げてきた輝かしい歴史を、シティプロモーションの核として国内外へ効果的に発信します。デジタルなど多様な広報手法を組み合わせ、情報発信を強化することで、藤枝ならではのサッカー文化を一層醸成し、市民の誇りや愛着の向上、交流人口・関係人口の拡大、さらには地域経済の活性化へとつなげていきます。

○本市固有の財産・資源の活用

JR東海道本線・新幹線や東名高速道路・新東名高速道路といった日本の大動脈が本市を横断し、さらに近接する富士山静岡空港へのアクセスも充実していることから、広域的な交通利便性において卓越した優位性を有しています。加えて、温暖で過ごしやすい気候に恵まれていることや、これまで市民とともに築き上げてきた輝かしい歴史、卓越した人材、円滑に機能する組織、充実した施設といった本市固有の貴重な資産が相互に補完し合う環境が整っています。今後は、これらの資産を有機的かつ戦略的に結びつけ、産業振興や観光、教育文化といった多様な分野で相乗効果を創出していく予定です。

（4）施策展開の7つの目標

「する」「みる」「支える」「育てる」「交流する」「発信する」そして「創る」

本計画では、サッカーを重要な地域資源と位置づけ、その特性と魅力を最大限に活かしながら市のさらなる発展と市民生活の充実を図る施策を推進していきます。本取組は、単に競技や観戦を楽しむ機会を提供するにとどまらず、地域社会に多くの効果をもたらすことを目的としております。市のイメージアップを通じた都市のブランド力向上、地域経済の活性化青少年の健全育成の促進、ふるさと意識や郷土愛の醸成、さらには健康増進や都市間・世代間交流の推進など、幅広い分野において成果を期待するものであります。

これらの目的を具体化するため、本計画は「する」「みる」「支える」「育てる」「交流する」「発信する」「創る」という7つの視点からなる環境づくりを推進目標として掲げ、具体的には、誰もがサッカーを気軽に楽しむことができる環境の整備、試合観戦を通じた感動や一体感の共有、藤枝MYFCも含めた市内に存在するサッカーチームの支援や応援体制の強化、こどもや若者を対象とした育成プログラムの充実、世代や地域を超えて交流を深める場の創出、さらには市の魅力を広く内外に向けて発信する広報活動の強化を進めています。加えて、サッカーを契機とし、地域に新しい価値を「創る」ことにも積極的に取り組んでいきます。

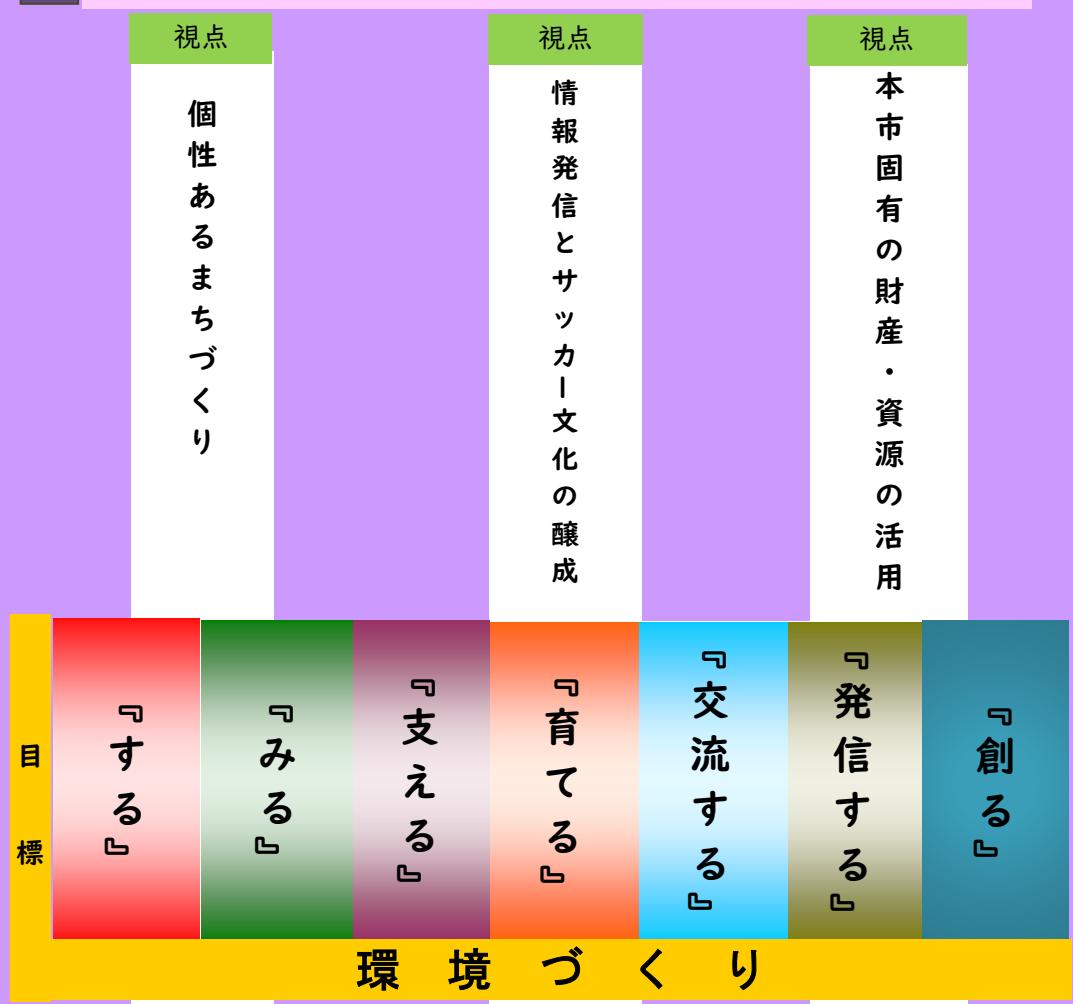
施策展開の視点と目標

理念

地域と共に 新たな歴史を繋ぎ、誇り、夢溢れる「サッカーのまち藤枝」

ビジョン

- ④こどもの夢に溢れるサッカーのまちづくり
- ⑤多世代、多文化共生のサッカーのまちづくり
- ⑥藤枝MYFCと連携したサッカーのまちづくり



(5) 計画の基本目標

○ゴール1 『する』環境づくり

すべての人が生涯にわたりサッカーを楽しめる「する」環境を整備します。育成年代からトップレベルを志す若者までが切れ目なく成長できるように、指導体制や交流プログラムを充実させていきます。あわせて、より幅広い世代・属性の多様な人々が各施設を有効活用できるように努めます。

○ゴール2 『みる』環境づくり

サッカーには、自ら競技に参加する楽しさと、「みる」楽しさがあります。特に、こどもたちにとっては、身近で憧れの選手の姿を目にすることが、技術の習得や夢・目標を抱くきっかけとなります。このため、本計画においては、トップレベル・全国レベルの大会の開催やトップチームの合宿誘致を積極的に推進し、競技者や指導者のみならず、市民が一流のプレーを身近にみることができる機会を創出していきます。

○ゴール3 『支える』環境づくり

J2リーグで戦う藤枝MYFCは、アンケート結果にも見られるように知名度が高まり、サポーターの輪も広がりつつあります。今後は、市民に親しまれ、地域を代表するクラブとして定着するとともに、サッカーの話題において常に中心となり、J1昇格に向けて、様々な側面から支援していきます。

さらに、藤枝MYFCをはじめ、市内クラブや本市ゆかりの選手の活躍は、市民に夢や希望を与えるとともに誇りや郷土愛を育む力となります。そのため、横断幕の掲出や積極的な情報発信を行い、支援・応援の体制をより一層充実させます。

○ゴール4 『育てる』環境づくり

国内外で活躍するトップアスリートを招いた講演会や、学校での特別授業などを通じて、こどもたちに夢や目標を持つことの大切さを伝え、心身の健全な育成を図ります。あわせて仲間を思いやる気持ちや社会性を育むことで、地域に誇りをもたらす人材を育てます。

さらに、心の充実や生きがい、健康的な生活を重視するWell-beingの考え方を取り入れながら、選手や指導者が成長できる環境を整備していきます。そのうえで、藤枝から世界へと羽ばたき、国際的な舞台で活躍することができるサッカー選手を継続的に輩出することを目指します。

○ゴール5 『交流する』環境づくり

富士山静岡空港や新東名高速道路などの高い利便性を持つ交通基盤を最大限に活用します。さらに「サッカーのまち藤枝」としての強みをはじめとする本市の多様な資源を生かし、国内外の姉妹・友好都市を含む幅広い地域のチームや団体との交流を、これまで以上に積極的に推進します。

○ゴール6 『発信する』環境づくり

令和6年（2024年）に「サッカーのまち100周年」という大きな節目を迎え、今後は、100年の歩みを次の世代へつなぎ、さらなる飛躍を遂げるため、本市ならではの資源を戦略的に活用しながら、市内外へ広く「サッカーのまち藤枝」の魅力を発信していきます。

○ゴール7 『創る』環境づくり

地域に新しい価値を「創ること」を目的とし、「サッカーのまち藤枝」の文化と歴史を最大限に生かし、その価値を核として官民が連携し、新たな取り組みを展開することで、地域経済の活性化と地域ブランドの向上を図ります。

基本理念

地域と共に、新たな歴史を繋ぎ、誇り、夢溢れる
「サッカーのまち藤枝」

【GOAL】 基本目標

『する』

- ◇ 世界に向けて羽ばたく子どもたちがプレーできる環境を整えよう
- ◇ 誰もがサッカーに親しめる環境を整えよう

『みる』

- ◇ トップレベルのプレーを身近で見たり・体感できる環境をつくろう

『支える』

- ◇ 藤枝のサッカーを支えよう
- ◇ 来訪者をおもてなししよう

『育てる』

- ◇ 藤枝が世界に誇れる人を育てよう
- ◇ 藤枝から世界へはばたこう

『交流する』

- ◇ 国内外の様々な人と交流の輪を広げよう
- ◇ 世代間、地域間の結びつきを強め、地域文化を醸成しよう

『発信する』

- ◇ 藤枝ならではの、サッカーに関する情報を発信しよう
- ◇ 蹴球都市ふじえだをPRしよう

『創る』

- ◇ サッカーを資源として多様な分野で活用し、地域経済活性化しよう

【MISSION】 施策の展開



- ◆ 各種スポーツ施設を有効活用しよう
- ◆ サッカーに親しむことができる場の機能充実
- ◆ 誰もが身近にプレーできる環境の整備



- ◆ トップレベル・全国レベルの試合等の開催
- ◆ 年代別日本代表、Jリーグ（WEリーグ・なでしこリーグ）や大学サッカーなどの合宿誘致



- ◆ 藤枝MYFCホームタウンのまちづくり
- ◆ 藤枝MYFC アウェイチームの歓迎
- ◆ 藤枝市ゆかりのサッカー選手や市内チームの応援体制の充実



- ◆ マルチスポーツの普及・推進
- ◆ こどもたちが夢や希望を抱くきっかけづくり（機会の創出）
- ◆ 選手、指導者等の育成環境の充実



- ◆ サッカーを通じた国際的な交流や都市交流の促進
- ◆ 地域資源を活かした世代間・地域間交流の促進



- ◆ 藤枝のサッカーに関する歴史文化・新たな歩みなどの情報を発信
- ◆ 藤枝市で開催される大会情報を発信
- ◆ 蹴球都市ふじえだを感じるシティ・ドレッシングによるPR



- ◆ サッカー文化と歴史を活用し、官民連携による多様な施策を展開して、新たなサッカー文化の醸成と地域ブランドの向上、地域経済の活性化
- ◆ 「サッカーのまち」として新たな価値と産業の創出

3 施策の展開

ゴール I 『する』環境づくり

すべての人が生涯にわたりサッカーを楽しめる「する」環境を整備します。育成年代からトップレベルを志す若者までが切れ目なく成長できるように、指導体制や交流プログラムを充実させていきます。あわせて、各施設を有効活用できるように努めます。

【G O A L】基本目標	【M I S S I O N】施策の展開
<ul style="list-style-type: none"> ◇ 世界に向けて羽ばたく子どもたちがプレーできる環境を整えよう ◇ 誰もがサッカーに親しめる環境を整えよう 	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 各種スポーツ施設を有効活用 ◆ サッカーに親しむことができる場の機能充実 ◆ 誰もが身近にプレーできる環境の整備

施策

No.	事業名	
	事業概要	目指す姿または期待される効果
1	シニアサッカー大会誘致、開催事業 (公財)日本サッカー協会など関係団体に対し積極的な大会誘致を行い、シニア世代の交流と宿泊、飲食等による地域活性化を図るため、継続開催を目指します。	開催地枠を利用した市民選手の出場機会が創出されます。大会を通じた市民交流と地域経済の活性化につながります。
2	障害者サッカー普及事業 全国知的障害特別支援学校高等部サッカー選手権大会を継続して誘致する。また、共生社会普及啓発イベントにおいて、障害者にサッカーに触れてもらうとともに、障害者サッカーの普及啓発を行います。	第6次藤の里障害者プランに掲げる「笑顔で自分らしく暮らす共生社会の実現」を目指します。障害者がサッカーを楽しむ機会の拡大を図ります。
3	女子サッカー普及事業 サッカーを通じた「女性が輝くまち」の実現を目指し、地域おこし協力隊を活用し、女性がサッカーをする場の創出やイベントの開催、市内女子チームの紹介、皇后杯の開催誘致を行います。	女子がサッカーをする環境づくりを推進し、女子サッカーポップスの育成を目指します。
4	キッズサッカー普及事業 未就学児の運動機会を創出するとともに、園などでサッカー教室を実施します。	子どものスポーツへの興味を喚起し、体力向上を図ります。サッカーの楽しさを体感することで、サッカー競技人口の増加を図ります。
5	グラウンド等の芝生化事業の推進 (公財)日本サッカー協会が行う、「ポット苗芝生化モデル事業」などを活用したグラウンド等の芝生化を推進します。併せて、総合運動公園や市民グラウンドにおいて、グラウンドの無料開放等を実施し、芝生グラウンドの良さを体験し、芝生化への機運を高めます。	子どもが安全に運動する機会の増加を目指します。学校と地域が連携して芝生の管理を行うことで、地域全体で学校を支援することにもつながります。
6	【拡充】市民が気軽に参加できるサッカーイベント開催事業 毎年開催している全国PK選手権大会の更なる充実を図るとともに、ウォーキングサッカーやストリートサッカーなど誰でも気軽に参加できるイベントを開催しています。	誰もがサッカーに親しむことができる環境を目指します。イベントを通じた地域間、世代間の交流の拡大を目指します。
7	【拡充】eスポーツ全国大会開催及び普及事業 2025年eスポーツ世界大会「eフットボールチャンピオンシップ」が東京での開催や、今後、オリンピックでの競技化も予定されていることから、サッカーのまちの新たな魅力創出のため、eスポーツ全国大会を実施していく。	サッカーのまちの新たな魅力創出となります。若い世代のサッカーへの関心を高まります。eフットボールの聖地化となることで、フットボールの普及にもつながります。
8	【新規】施設の有効活用と賑わい創出事業 各施設でスポーツ競技以外のイベント等も開催し、より幅広い世代、属性の多様な人々が集い、賑わいを創出する拠点となるように活用していきます。	グルメフェスの同時開催など、サッカー場を誰もが身近に感じる施策を展開することで、サッカーに興味をもつ機会を創出します。
9	【新規】部活動の地域展開の推進事業 地域部活動在り方検討委員会による地域展開を推進し、生徒がサッカーに触れる機会を確保します。	サッカーを続ける環境を提供することで、サッカー人口が増加するのと同時に、生涯スポーツとしてサッカーを選択する人材育成に繋がります。

3 施策の展開

ゴール2 『みる』環境づくり

サッカーには、自ら競技に参加する楽しさとともに、「みる」楽しさがあります。特に、こどもたちにとっては、身近で憧れの選手の姿を目にすることが、技術の習得や夢・目標を抱く契機となります。このため、本計画においては、トップレベル・全国レベルの大会の開催やトップチームの合宿誘致を積極的に推進し、競技者や指導者のみならず、市民が一流のプレーを身近にみることができる機会を創出していきます。

【GOAL】基本目標	【MISSION】施策の展開
◇ トップレベルのプレーを身近で見たり・体感できる環境をつくろう	◆ トップレベル・全国レベルの試合等の開催 ◆ 年代別日本代表、Jリーグ（WEリーグ・なでしこリーグ）や大学サッカーなどの合宿誘致

施策

No.	事業名	事業概要		目指す姿または期待される効果
1	トップレベル・全国レベルの試合等誘致、開催事業	各世代の全国大会や国際大会を積極的に誘致し、開催します。		トップレベルのチーム、選手が出場する試合を間近に見ることで、子どもたちは、技術を習得したり、夢や希望を抱きます。 また、大会出場チームやそのサポーター等の来訪人口拡大と地域経済の活性化を図ります。
2	トップレベルチームのキャンプ誘致事業	各年代の男女日本代表やJリーグ、なでしこリーグチームの合宿誘致を行います。 合宿の際には、本市の子どもたちとの交流機会を実施し、創出につながります。		トップレベルの選手のプレーを間近に見ることで、子どもたちは、技術を習得したり、夢や希望を抱きます。 また、キャンプ実施により、「サッカーのまち藤枝」を国内外に発信します。
3	【新規】 サッカーミュージアム来場促進事業	施設内のサッカー展示コーナーの充実、各種イベントの開催等、施設の賑わい創出につなげます。		誰もが、いつでも気軽に施設を訪れ、楽しめる魅力ある施設づくりに努め、施設来場者の増加を目指します。



2025 J2リーグ 藤枝MYFCのホーム戦



全日本高等学校女子サッカー選手権大会
パブリックビューイング

3 施策の展開

ゴール3 『支える』環境づくり

J2リーグで戦う藤枝MYFCは、アンケート結果にも見られるように知名度が高まり、サポーターの輪も広がりつつあります。今後は、市民に親しまれ、地域を代表するクラブとして定着するとともにサッカーの話題において常に中心となり、J1昇格に向けて様々な側面から支援していきます。そして、藤枝MYFCと目標（サッカー人口の拡大、地域経済活性化や青少年の育成など）を共有し連携して推進していきます。

藤枝MYFCをはじめ、市内クラブや本市ゆかりの選手の活躍は、市民に夢や希望を与えるとともに誇りや郷土愛を育む力となります。そのため、横断幕の掲出や積極的な情報発信を行い、支援・応援の体制をより一層充実させます。また、商業・観光業界をはじめ、関係団体と連携し、サッカーを通して国内外から集まる来訪者に対して、おもてなしの体制づくりに努めます。

【GOAL】基本目標	【MISSION】施策の展開
<ul style="list-style-type: none">◆ 藤枝のサッカーを支えよう◆ 来訪者をおもてなししよう	<ul style="list-style-type: none">◆ 藤枝MYFCホームタウンのまちづくり◆ 藤枝MYFC アウェイチームの歓迎◆ 藤枝市ゆかりのサッカー選手や市内チームの応援体制の充実

施策

No.	事業名	事業概要	目指す姿または期待される効果
1	各種サッカー大会支援事業	市内で開催される各年代の大会が継続して円滑に開催されるよう、会場確保や大会運営支援を行い、出場選手や大会を支える環境を整備します。	円滑な大会運営と選手の育成を目指します。市内での継続開催によるサッカーのまち藤枝のPRにつなげます。来訪者の拡大と地域経済の活性化を図ります。
2	藤枝市ゆかりのサッカー選手応援事業	国内外で活躍する藤枝市ゆかりの選手を応援するため、のぼり旗や横断幕を設置したり、市民への選手の情報提供を行い、市全体で応援する体制の充実を図ります。また、特に顕著な成績を収めたものを表彰します。	藤枝市ゆかりの選手が活躍することにより、市民に夢や希望を与え、同郷としての誇りを醸成します。市民の応援は、選手の励みとなり更なる活躍が期待できます。
3	各種サッカー大会おもてなし環境整備事業	各種大会開催期間中に、商店街や駅周辺などに歓迎旗や歓迎ポップの設置や横断幕の掲出など、試合会場内での市の特産品の販売などを行い、市民一体となって大会を盛り上げる体制を整備します。	大会に出場する選手や応援に訪れる来訪者が「また来たい」「藤枝に来てよかったです」と感じるおもてなしを目指します。地域経済の活性化を目指します。
4	市民から愛されるトップチーム支援事業	Jリーグに所属する「藤枝MYFC」に対し、クラブのPRや試合告知、市民との交流機会の創出等を行い、市民に愛される、地域に根差したチームとなるよう支援します。	市全体で応援することで一体感が醸成されます。チームが活躍することで、誇りや郷土愛が育まれ、サッカーを始める者が増え、サッカー人口拡大にも繋がります。
5	【新規】講習会等支援事業	サッカー競技人口およびサッカーに関わる人口の拡大を図るため、指導者の資質向上を目的とした講習会や、資格を取得できる講習会等の開催支援をしていきます。	遠方で開催されていた講習会等を本市で開催することにより、移動負担や費用の軽減が図られ、受講を希望する方が参加しやすくなります。これにより受講者数の増加が期待でき、結果として市内のサッカー関係者における資格保有者が着実に増加し、地域の指導体制や競技環境の充実に繋がります。
6	【新規】サッカーのまち藤枝応援文化事業	藤枝MYFCのホームゲームを筆頭に、本市では年間を通じて多種多様な大会や交流試合が開催されています。こうした機運をさらに高めるため、市内のあらゆる年代・カテゴリーのチームを応援する文化を創出します。	地域一体となった応援を進めることで、「サッカーのまち藤枝」としてのブランド力に一層の磨きをかけ、持続的なぎわい創出と市民の誇りの向上につなげていきます。

3 施策の展開

ゴール4 『育てる』環境づくり

国内外で活躍するトップアスリートを招いた講演会や、学校での特別授業などを通じて、こどもたちに夢や目標を持つことの大切さを伝え、健全な心身の発達を育てていきます。あわせて、仲間を思いやる気持ちや社会性を育むことで、地域に誇りをもたらす人材を育てます。

さらに、心の充実や生きがい、健康的な生活を重視するWell-Beingの考え方を取り入れながら、選手や指導者が成長できる環境を整備していきます。そのうえで、藤枝から世界へと羽ばたき、国際的な舞台で活躍することができるサッカー選手を継続的に輩出することを目指します。

【GOAL】基本目標	【MISSION】施策の展開
<ul style="list-style-type: none"> ◇ 藤枝が世界に誇れる人を育てよう ◇ 藤枝から世界へはばたこう 	<ul style="list-style-type: none"> ◆ マルチスポーツの普及・推進 ◆ こどもたちが夢や希望を抱くきっかけづくり（機会の創出） ◆ 選手、指導者等の育成環境の充実

施策

No.	事業名	事業概要	目指す姿または期待される効果
1	【拡充】「夢の教室」の開催事業	<p>日本サッカー協会と連携し、市内全小学校において、原則5年生を対象に、トップアスリートを特別講師「夢先生」とした特別授業「夢の教室」を開催します。</p> <p>授業では、「夢を持つこと」、「仲間と協力すること」などの大切さを、夢先生の実体験に基づき子どもたちに伝えます。また、中学年代への拡充について検討していきます。</p>	「夢を持って努力すること」、「相手を思いやること」、「仲間と協力すること」の大切さを伝え、自立心と社会性に富んだ、元気で魅力的な藤枝の子どもを育成します。
2	トップアスリート育成事業	<p>世界で活躍する選手の輩出を目指し、市サッカー協会と行政が目標を共有するとともに、役割を明確化し、選手や指導者の育成や保護者への啓発に取り組みます。</p>	将来、世界の舞台で活躍できるサッカー選手を輩出する。本市出身選手の活躍によりシティプロモーションに寄与します。
3	【新規】サッカー・文化体験プログラム事業	<p>サッカー合宿や各種大会への参加・開催を通じて、文化や歴史、地域資源に触れる学びの機会を提供します。</p>	参加者の自主性・社会性・豊かな人間性を育むことが期待されます。
4	【新規】マルチスポーツ事業	<p>世界で活躍している選手たちは、幼少期から一つの競技に偏るのではなく、さまざまな競技に取り組み、多様な動きや感覚を身につけています。将来世界で活躍できる選手を育てるために、年齢や発達段階に応じて複数のスポーツに取り組む「マルチスポーツ」を積極的に実施します。</p>	幅広いスポーツ経験は、基礎的な運動能力の向上やけがの予防、競技への適応力の獲得や創造性の発揮につながります。子どもたちが楽しみながら自分の可能性を広げることにも寄与します。



JFAこころのプロジェクト「夢の教室」



藤枝MYFCによる巡回指導

3 施策の展開

ゴール5 『交流する』環境づくり

富士山静岡空港や新東名高速道路などの高い利便性を持つ交通基盤を最大限に活用します。さらに「サッカーのまち藤枝」としての強みをはじめとする本市の多様な資源を生かし、国内外の姉妹・友好都市を含む幅広い地域のチームや団体との交流を、これまで以上に積極的に推進します。

【GOAL】基本目標	【MISSION】施策の展開
<ul style="list-style-type: none"> ◇ 国内外の様々な人と交流の輪を広げよう ◇ 世代間、地域間の結びつきを強め、地域文化を醸成しよう 	<ul style="list-style-type: none"> ◆ サッカーを通じた国際的な交流や都市交流の促進 ◆ 地域資源を活かした世代間・地域間交流の促進

施策

No.	事業名	
	事業概要	目指す姿または期待される効果
1	藤枝サッカーツアー開催事業 サッカーを観光資源とした、市内を巡る藤枝サッカーツアーの充実を図り、来訪者の拡大と交流の拡大に繋げます。また、試合や応援で本市に訪れた来訪者が、空き時間に市内を周遊できる観光メニューの開発を行います。	来訪者の拡大と交流の拡大を目指します。本市固有のサッカー資源（人材、歴史、施設など）を活用し、国内外にサッカーのまちをPRします。
2	サッカー場を起点とした市民参加事業の開催 サッカー場を会場に健康イベントを開催し、市民の健康増進と交流の拡大を図ります。また、ウォーキングコースにサッカー場を加え、市民がサッカーに親しむ機会を創出します。	市民の健康増進と交流の拡大を目指します。話題性を創出し、サッカーのまちをPRします
3	日本サッカーを応援する自治体連盟連携事業 本市が加盟する「日本サッカーを応援する自治体連盟」と連携し、各種イベント等に参加することで、加盟市町村との人脈構築や市民との交流機会の創出を図ります。	取り組みに参加する中で、加盟市町村との人脈構築を図り、同じ思いを持つ自治体同士が連携し、各種イベントの開催等を通じた市民交流を目指す。
4	サッカーを通じた都市交流促進事業 本市で開催されるサッカー大会やイベントに姉妹都市や友好都市チームに参加していただき、また、姉妹都市や友好都市でのサッカー大会等に本市チームが参加することで交流を図ります。	サッカーを通じた市民レベルの交流の拡大を目指します。来訪者の拡大と地域経済の活性化を図ります。
5	駅前サッカーフェス開催事業 JR藤枝駅北口広場・南口広場において、プロ選手のトークショーや、ミニゲーム、パブリックビューイングなどのサッカーイベントを開催し、市民の交流を図ります。	サッカーを通じた交流が図られるとともに、中心市街地の活性化に寄与します。
6	【新規】サッカーを通じた地域間・世代間等の交流促進事業 本市で開催されるサッカー大会や各種イベントに合わせてレセプションを開催し、地域間および世代間の交流を促進します。さらに、企業と連携し、障害者との交流事業も実施します。	参加チームや関係団体が一堂に会し、地域間・世代間の交流を促進して地域経済の発展に寄与します。また、障害の有無・性別に問わらず、交流をすることで、共生社会の実現につなげます。

*日本サッカーを応援する自治体連盟

サッカーの普及、振興とサッカーを通じたまちづくりの推進を図ることを目的に、（公財）日本サッカー協会と本市を含めた目的に賛同した自治体が加盟する組織（H25.11設立：〇〇〇自治体が加盟（R8.3.31時点））

3 施策の展開

ゴール6 『発信する』環境づくり

令和6年（2024年）に「サッカーのまち100周年」という大きな節目を迎える今後は、100年の歩みを次の世代へとつなぎさらなる飛躍を遂げる「NEXT100年」に向けて、本市ならではの資源を戦略的に活用しながら、市内外へ広く「サッカーのまち藤枝」の魅力を発信していきます。

【GOAL】基本目標	【MISSION】施策の展開
<ul style="list-style-type: none"> ◇ 藤枝ならではの、サッカーに関する情報を発信しよう ◇ サッカーのまちふじえだをPRしよう 	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 藤枝のサッカーに関する歴史文化・新たな歩みなどの情報を発信 ◆ 藤枝市で開催される大会情報を発信 ◆ 足球都市ふじえだを感じるシティ・ドレッシングによるPR

施策

No.	事業名	事業概要	目指す姿または期待される効果
1	「蹴球都市ふじえだ」情報発信事業	市ホームページの特設サイトの「サッカーのまち藤枝」で、本市の文化であるサッカーに関する情報を総合的に発信します。	サッカーのまち藤枝をPRすることで、本市の更なるイメージアップを図り、来訪・交流人口の拡大を図ります。
2	「蹴球都市ふじえだ」街並み演出事業	藤枝市の玄関口である南北自由通路や駅前広場、駅南広場等において、サッカーのまちを感じられる街並みを演出します。また、マンホール蓋や街路灯、カーブミラーなど、市内の至る所に点在するものをサッカーにちなんだデザインにすることで、市内外へサッカーのまち藤枝をPRします。	藤枝駅に降り立った瞬間にサッカーのまち藤枝を感じることができる環境を整備します。話題性を創出し、来訪者の回遊性を持たせ、交流人口の拡大を目指します。市民のサッカーへの関心が高まり、サッカーのまちを誇りと思える演出を目指します。
3	サッカーにちなんだ商品等を活用したPR事業	産学官連携によるサッカーに関連した新たな商品開発を図るとともに、それらの商品の販路拡大、商品PRを積極的に行い、サッカーのまち藤枝を国内外にPRします。	話題性を創出し、地域経済の活性化を目指します。サッカーのまちを誇りと思える商品開発を促進します。
4	【拡充】「蹴球都市」を活用したシティプロモーション事業	平成27年度にサッカーのまち藤枝の見える化事業として実施した「シティドレッシング事業」により採択されたキーデザイン等を活用し、本市のシティプロモーションを実施する。併せて、民間利用の促進を図る。	「蹴球都市」のキーデザインを民間利用も含めて広めることで、サッカーのまち藤枝をPRします。
5	【新規】サッカーミュージアムによるサッカーのまちPR事業	サッカーミュージアムは、世代を超えて楽しめる「学びと体験の場」です。歴史を物語る貴重な展示品から、臨場感あふれるVR体験まで、サッカーのまちの魅力をさまざまな角度でお届けします。	市民の誇り・一体感を高め、地域の歴史や功績を次世代へ継承する基盤を築きます。そして、サッカーの裾野を広げ、地域全体のサッカー人口の拡大に寄与します。
6	【新規】サッカーを通して成長し、社会で活躍する人財PR事業	サッカーを通して、協調性・忍耐力・コミュニケーション能力・リーダーシップ・思考力、そしてフェアプレーの精神など、多面的なスキルが育まれ、これらの力を社会で発揮している人財を紹介します。	サッカーを通じて育成された多様な人財が、地域社会の各分野において活躍する循環を確立することにより、次代を担う幼児・児童が将来像を明確に描くことに加え、サッカーのまち藤枝を広くPRします。



サッカーミュージアムのオープンイベントに参加した名波氏



3 施策の展開

ゴール7 『創る』環境づくり

「サッカーのまち藤枝」の文化と歴史を最大限に活かし、官民が連携して多様な取り組みを展開することで、地域ブランドの向上と新たな価値の創出を図り、地域経済の活性化につなげます。

【GOAL】基本目標	【MISSION】施策の展開
<p>◇ サッカーの文化と歴史を資源として多様な分野で活用し、地域ブランドの向上と新たな価値の創出を図り、地域経済を活性化しよう</p>	<ul style="list-style-type: none"> ◆ サッカー文化と歴史を活用し、官民連携による多様な施策を展開して、新たなサッカー文化の醸成と地域ブランドの向上、地域経済の活性化 ◆ 「サッカーのまち」として新たな価値と産業の創出

施策

No.	事業名	事業概要	目指す姿または期待される効果
1	【新規】 地域ブランド力向上事業	100年の歴史を誇る「サッカーのまち」として、本市ならではの地域・企業・クラブ等が一体となり市民総ぐるみによる来訪者への”おもてなし”を通じて、新たなファン基盤の拡大と来訪動機を創出し、地域経済への波及を実現します。	官民連携による多様な取り組みで、本市ならではのサッカー観戦を”満喫する楽しみ”や”居心地のよさ”などを演出し、来訪者の満足度向上を図ることにより、歴史ある「サッカーのまち」としての地域ブランド力を高め、新たな来訪者・関係人口の拡大と、消費・投資の拡大を招き、地域経済の活性化につなげます。
2	【新規】 新たな価値の創出事業	「サッカーのまち」としての歴史や文化を本市ならではの資源として活用し、魅力ある商品の開発や、サッカー×食・健康など、新たな価値と産業の創出を図ります。	サッカーを通じた本市ならではの地域ブランド力を活かした魅力ある商品開発や、食・健康など多様な分野で新たな産業を創出することで、「サッカーのまち」として、新たな価値の創造を目指します。



キャプテン翼とコラボした「茶プロテン翼cha」



お茶の色が「藤色」の蹴球茶

第4章 計画の推進

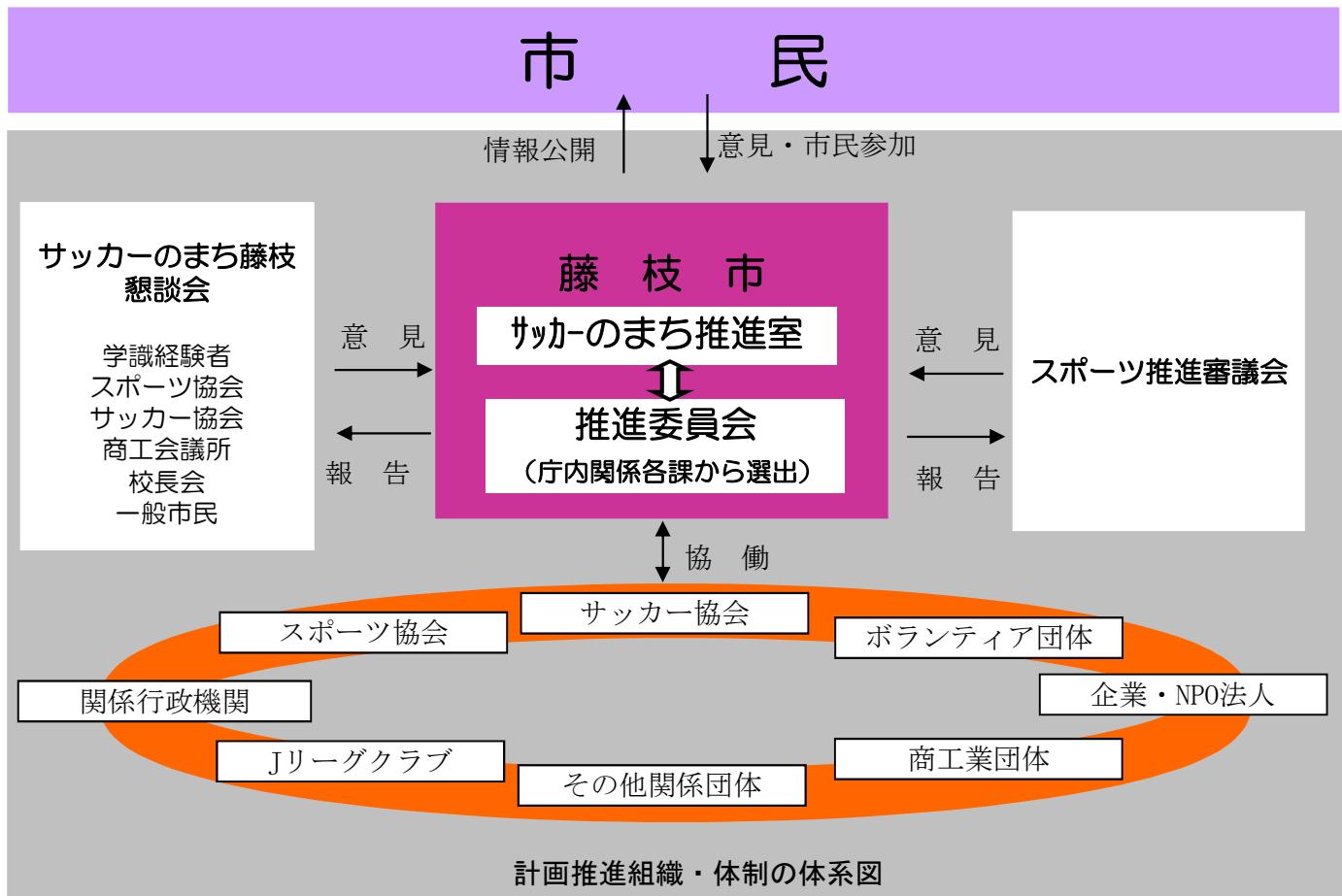
1 計画の進捗状況の管理・評価（P D C A）

計画を着実に推進し、管理・評価するために、サッカーのまち藤枝懇談会及びスポーツ推進審議会に進捗状況を報告し、意見を求めます。

また、庁内関係各課から選出された委員で構成する庁内推進委員会を設置し、年度ごとに計画の進捗状況を把握し、施策の評価及び見直しを行い、円滑な推進に努めます。

2 関係団体等との協働

計画を推進するためには、市民及び藤枝市サッカー協会をはじめとする多くの関係団体の協力が不可欠です。それらの関係団体等と協働し、計画の着実な推進に取り組みます。



3 第6次藤枝市総合計画（後期計画）に位置づけた成果指標

	成果指標	基準値 令和6年(2024年)	目標値 令和12年(2030年)
1	静岡県トレーニングセンター及びナショナルトレーニングセンターへの年間輩出数 【2024年度から累計】	7人	35人
2	サッカーに携わる人 (指導者・審判員)の数	3,643人	3,751人
3	女子サッカーの競技者数	245人	263人

＜参考資料＞

「サッカーのまち藤枝ドリームプラン」見直しのためのアンケート調査

【実施概要】

期間 令和7年3月12日発送 3月31日回答期限（21日間）

方法 郵送による配布

対象者 住民基本台帳より無作為抽出1,000名

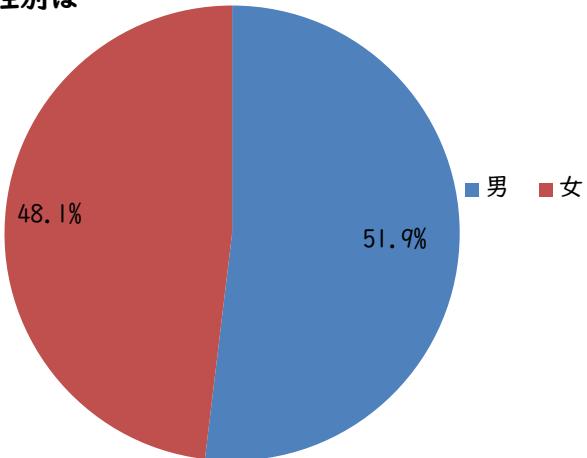
15歳以上の日本人、年齢・性別による層化抽出・同一世帯で1名のみ

回答数 370名

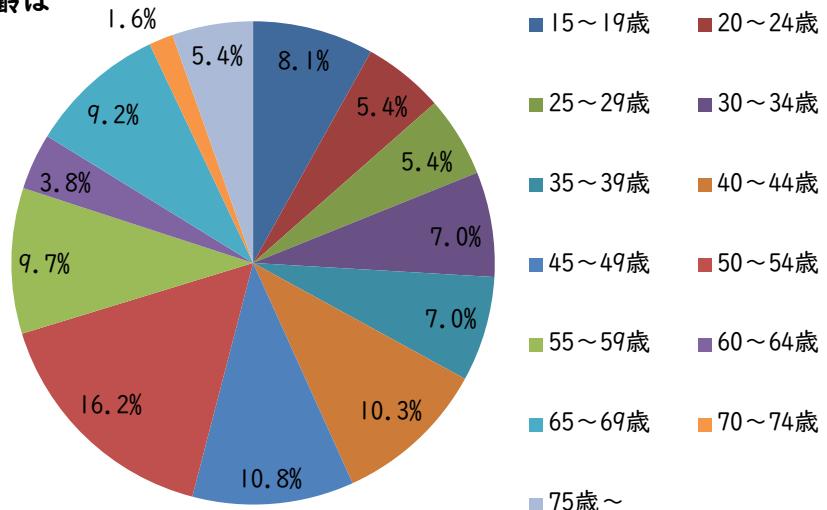
【アンケート結果】

＜回答者の属性＞

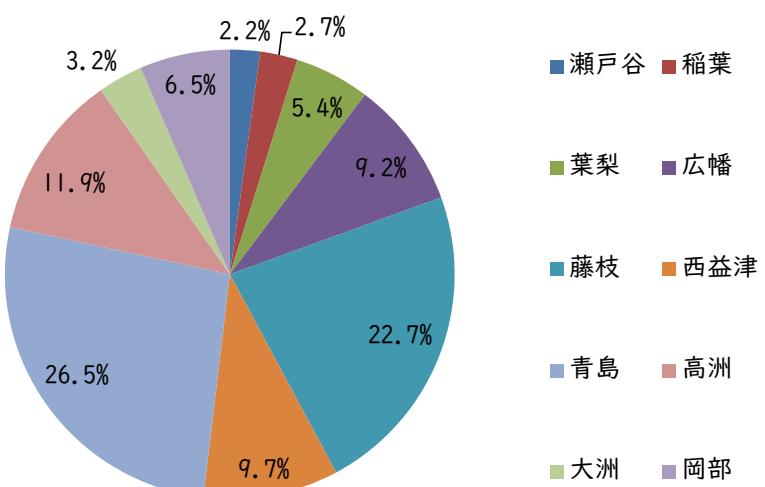
Q1 あなたの性別は



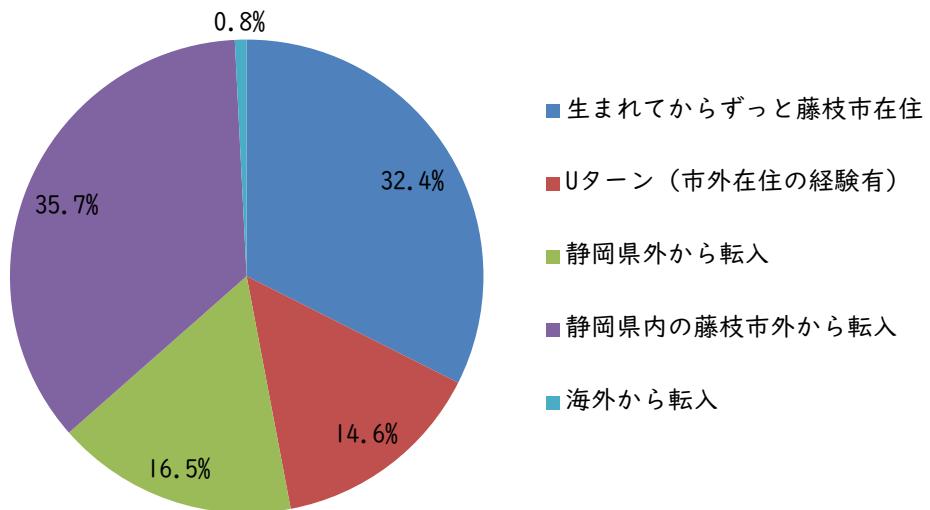
Q2 あなたの年齢は



Q3 あなたのお住まいの地区は

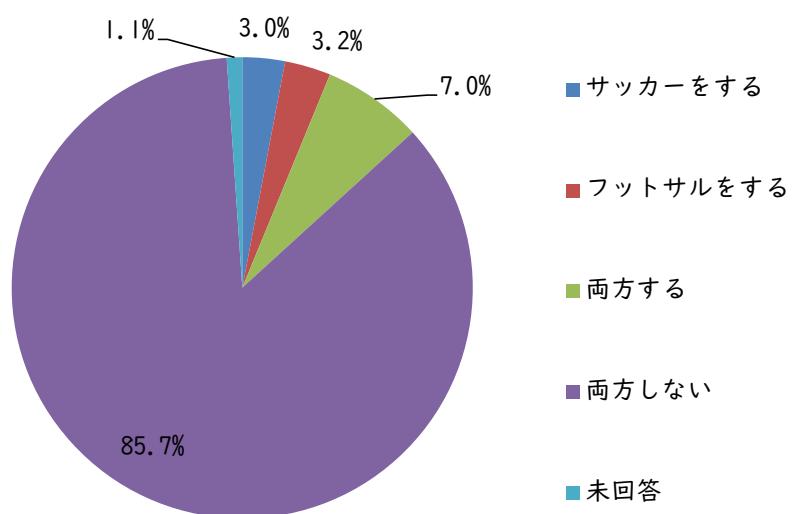


Q4 あなたの出身は

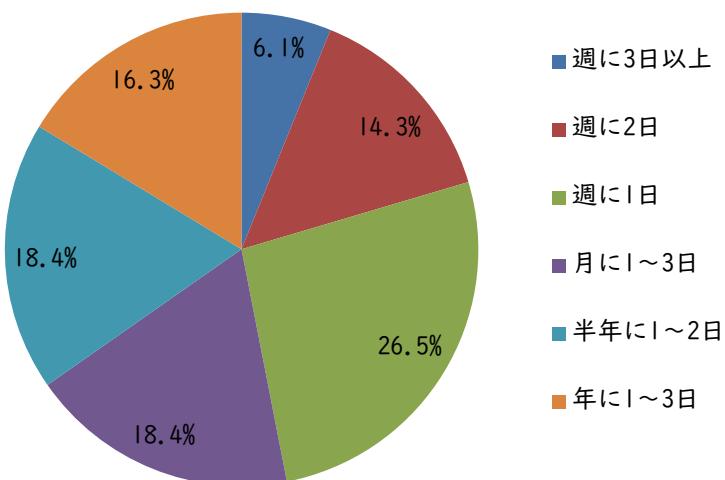


<サッカーとの関わり>

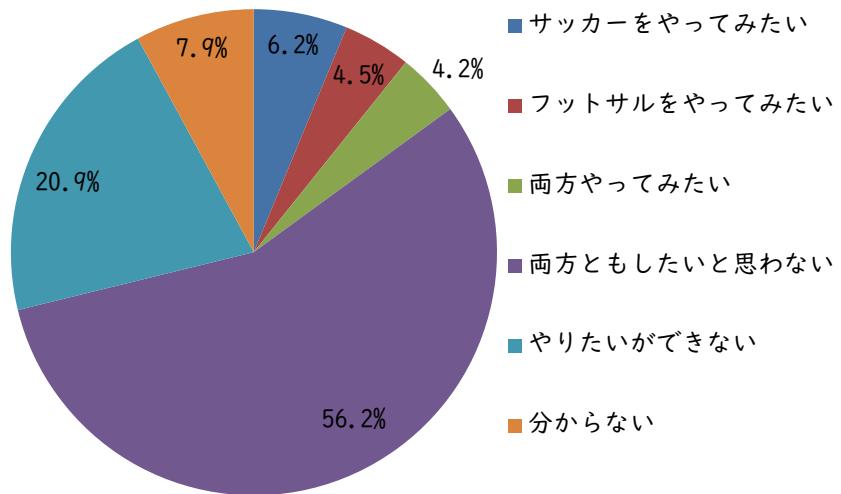
Q5 現在、あなたはサッカーまたはフットサルをしていますか



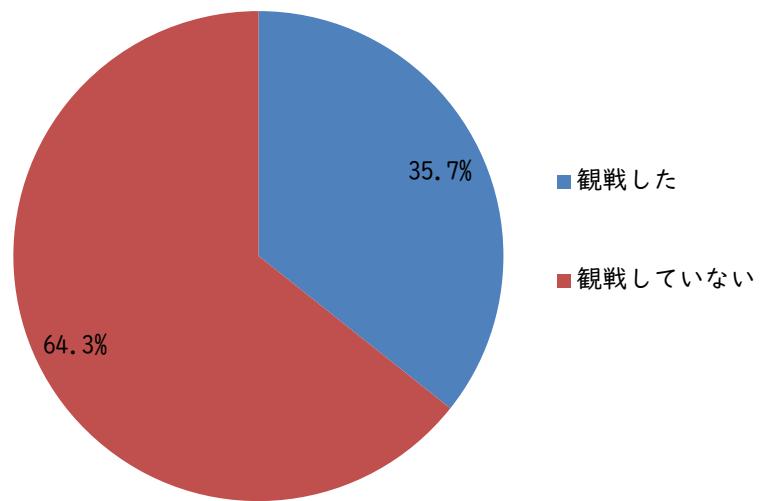
Q6 どのくらいサッカーまたはフットサルをしていますか



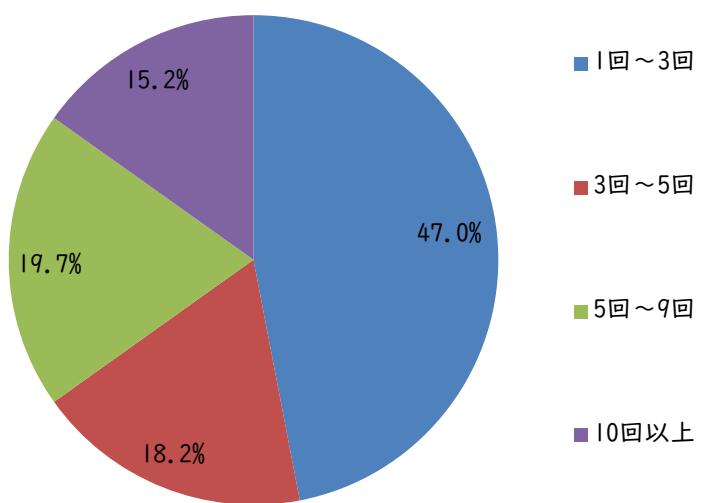
Q7 今後サッカーまたはフットサルをしたいと思いませんか



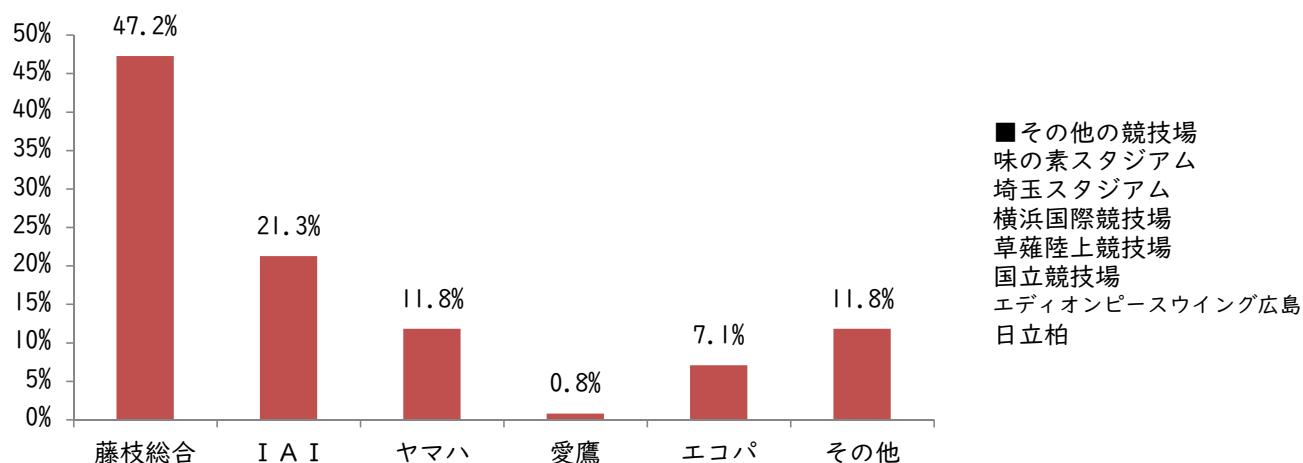
Q8 過去1年間にJリーグまたは日本代表戦を競技場等で観戦しましたか



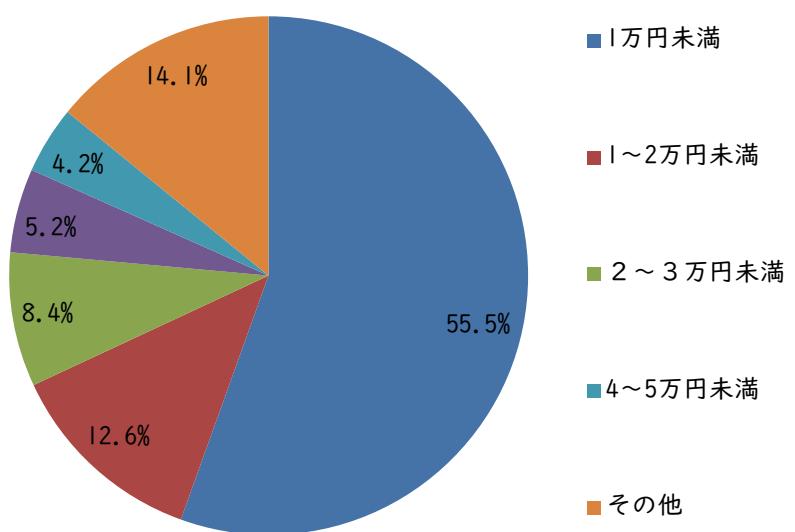
Q8-1 観戦した回数



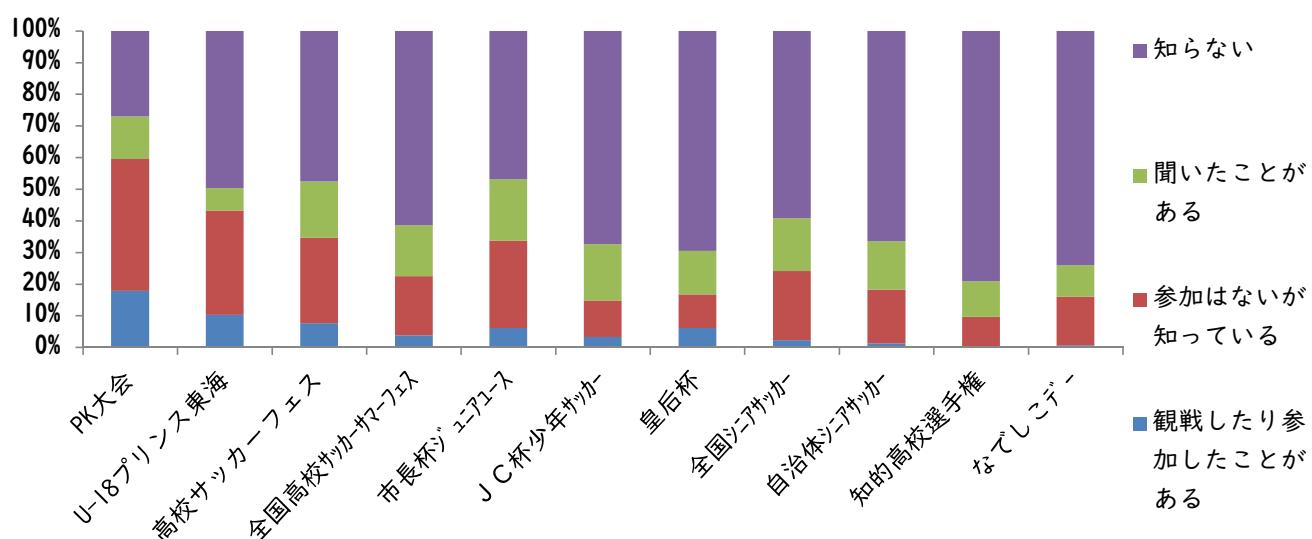
Q9 観戦した競技場（複数回答）



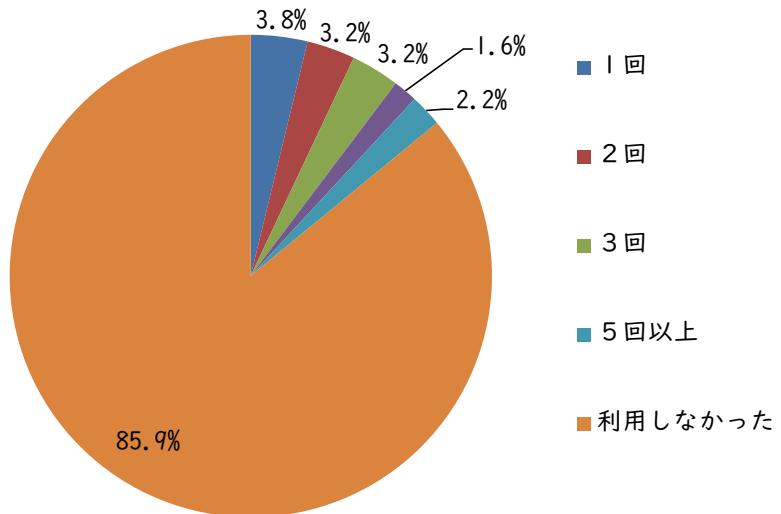
Q10 過去1年間にサッカー観戦にどれくらいの費用をかけましたか



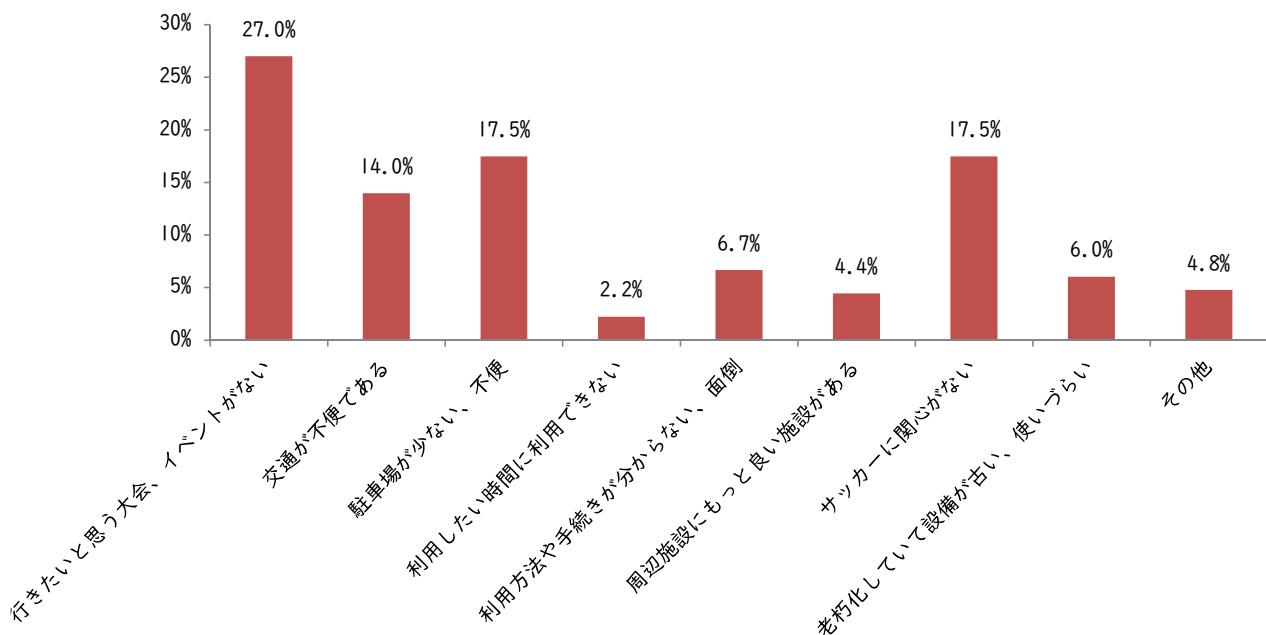
Q11 藤枝市で開催されるサッカー大会、イベントへの関わり



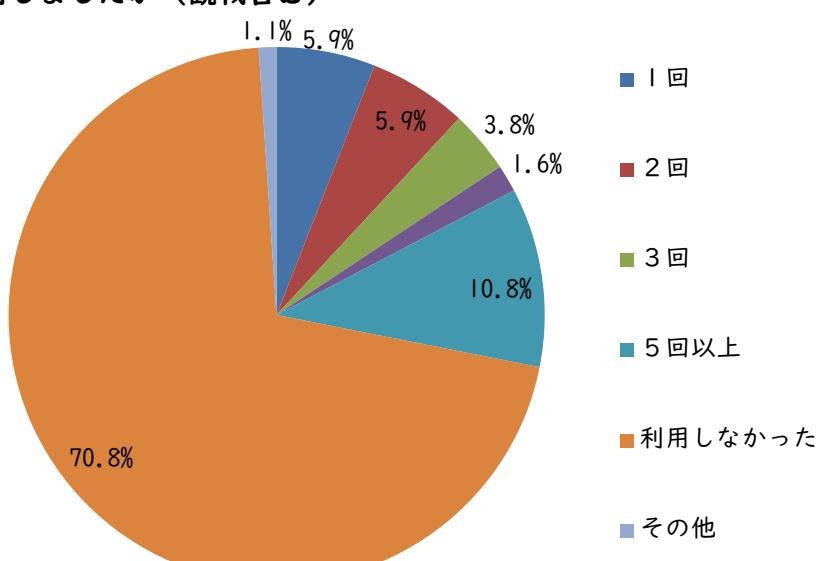
Q12 過去1年間に市民グラウンドサッカー場をサッカー目的で利用しましたか（観戦含む）



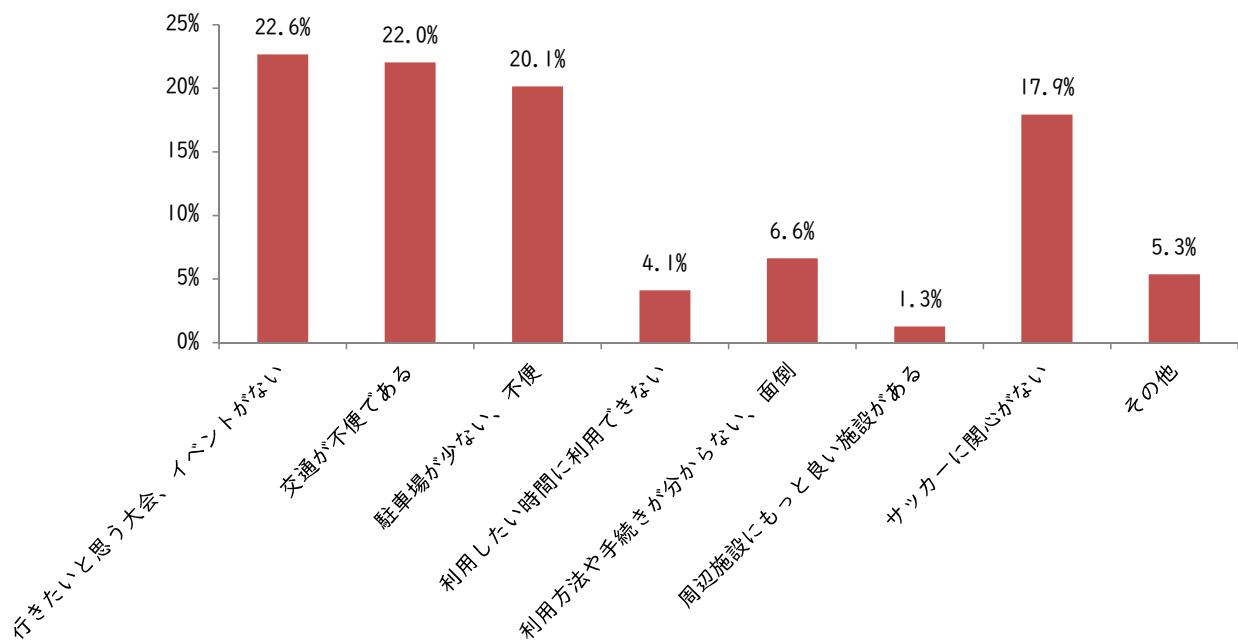
Q13 市民グラウンドサッカー場を利用するまでの問題点、または、利用しない理由（3つまで）



Q14 過去1年間に総合運動公園（サッカー場、陸上競技場、多目的広場）をサッカー目的で利用しましたか（観戦含む）

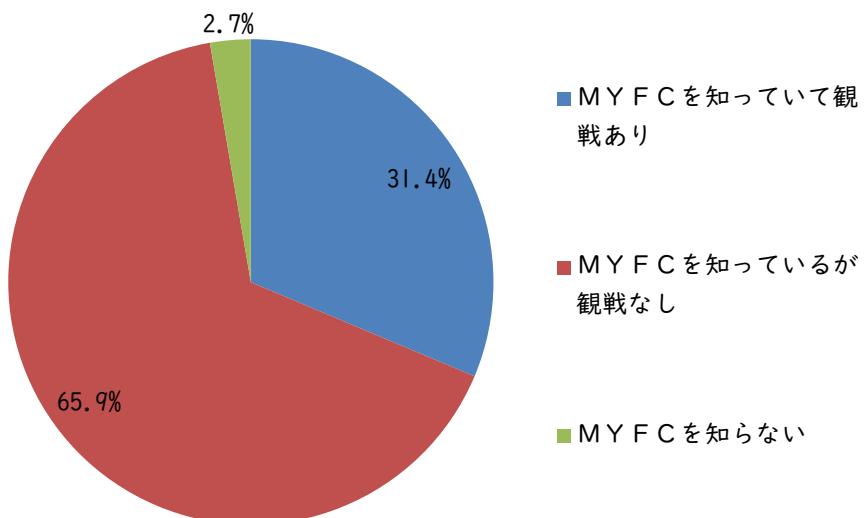


Q15 総合運動公園（サッカー場、陸上競技場、多目的広場）を利用する上の問題点、または利用しない理由（3つまで）

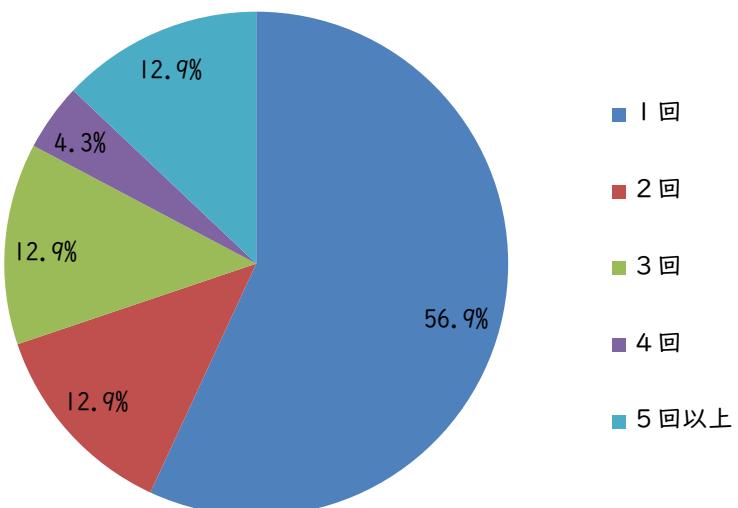


<藤枝MYFCについて>

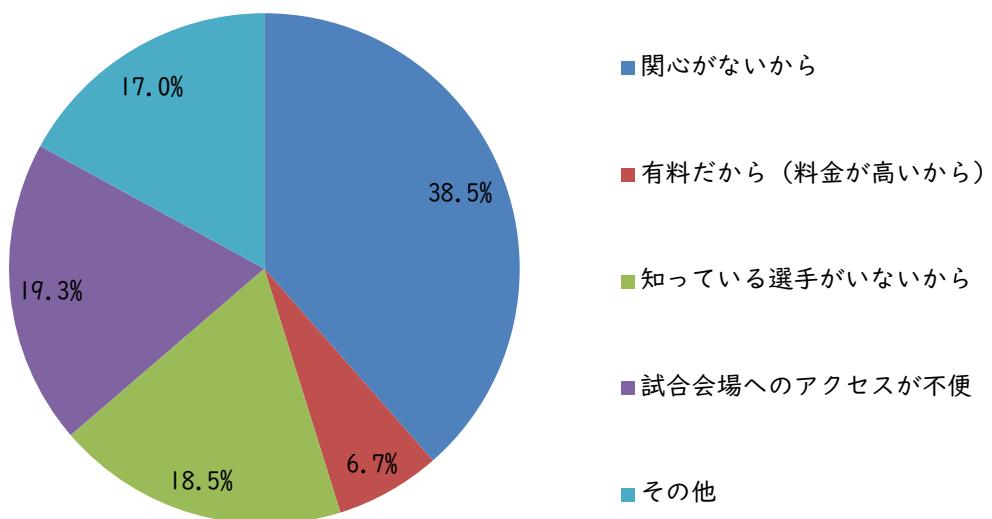
Q16 藤枝MYFCを知っていますか



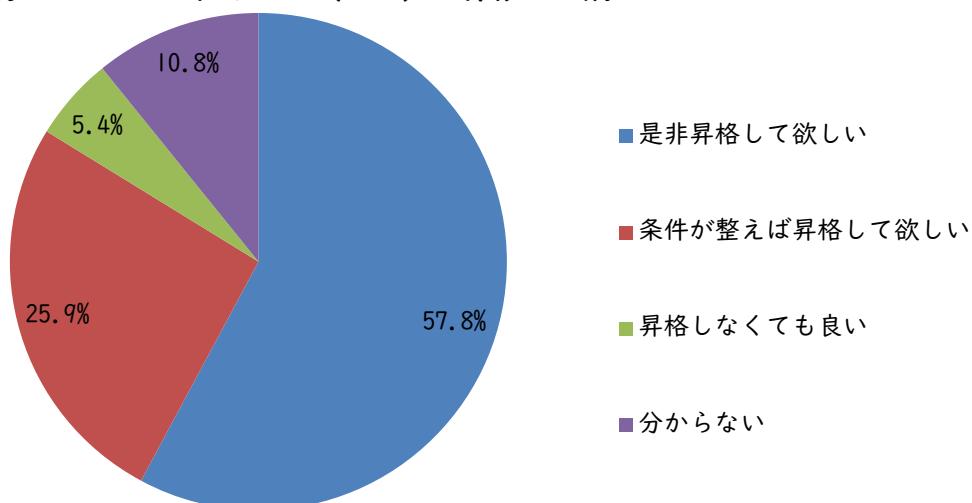
Q17 過去1年間に藤枝MYFCの試合を何回観戦しましたか（N=41）



Q18 藤枝MYFCの試合を観戦しない理由は何ですか

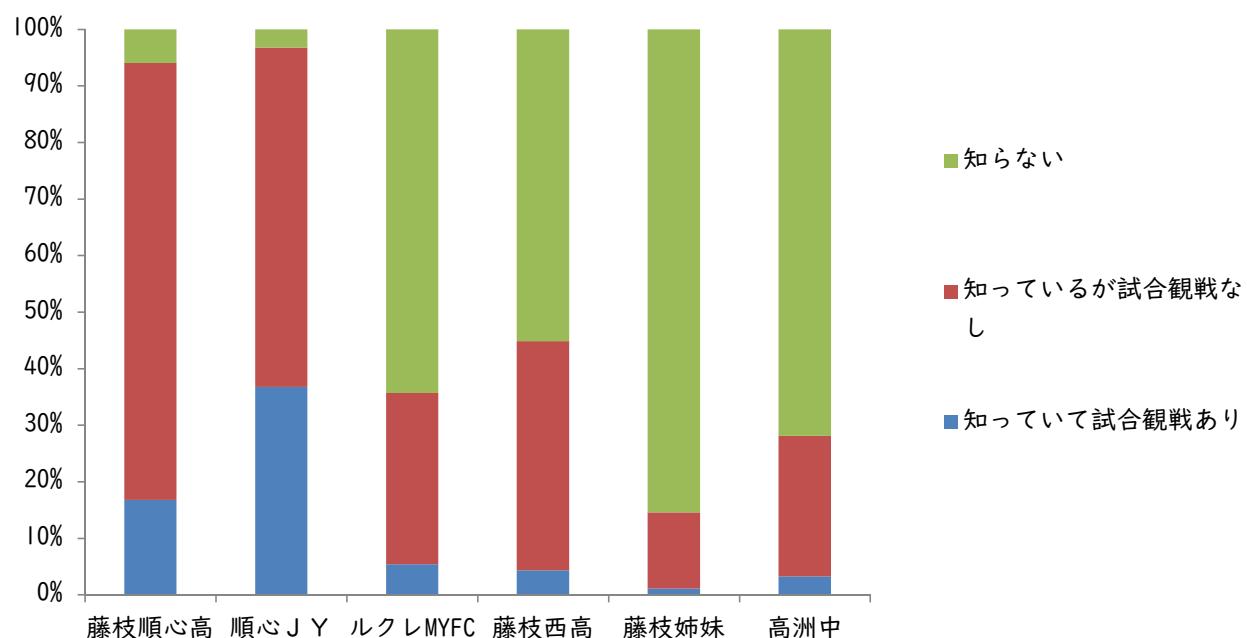


Q19 藤枝MYFCが上位リーグ（J1）に昇格して欲しいか

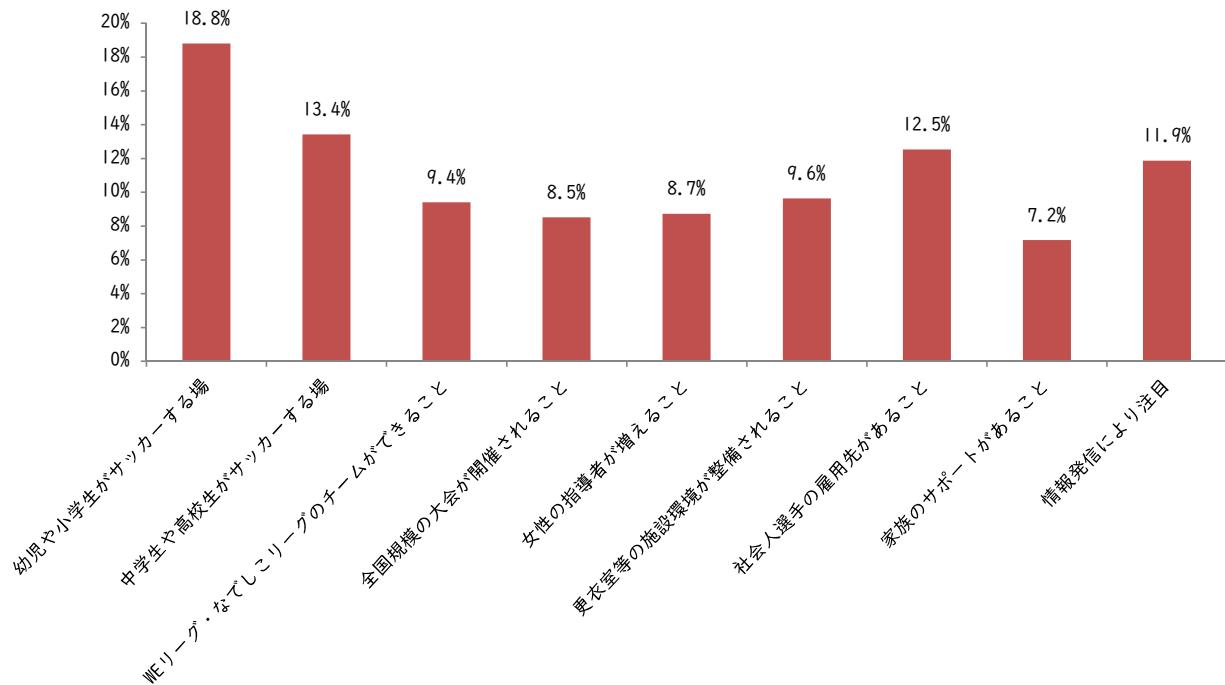


＜女子サッカーについて＞

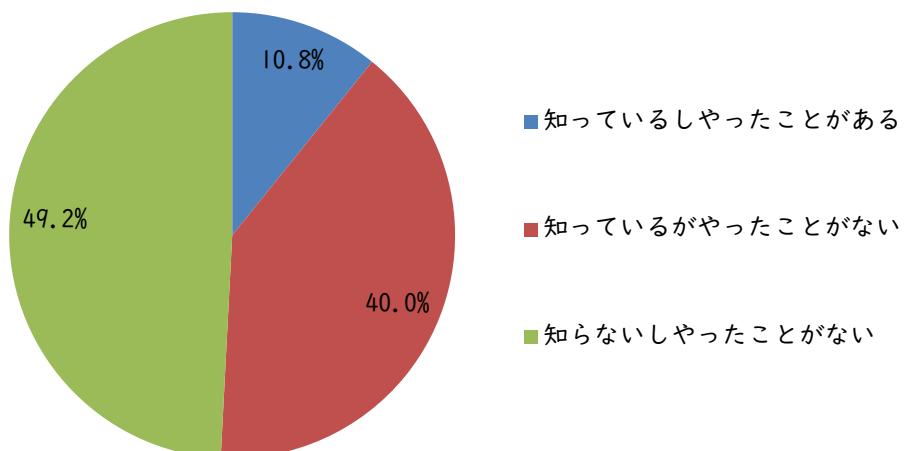
Q20 藤枝市内の女子サッカーチームを知っていますか



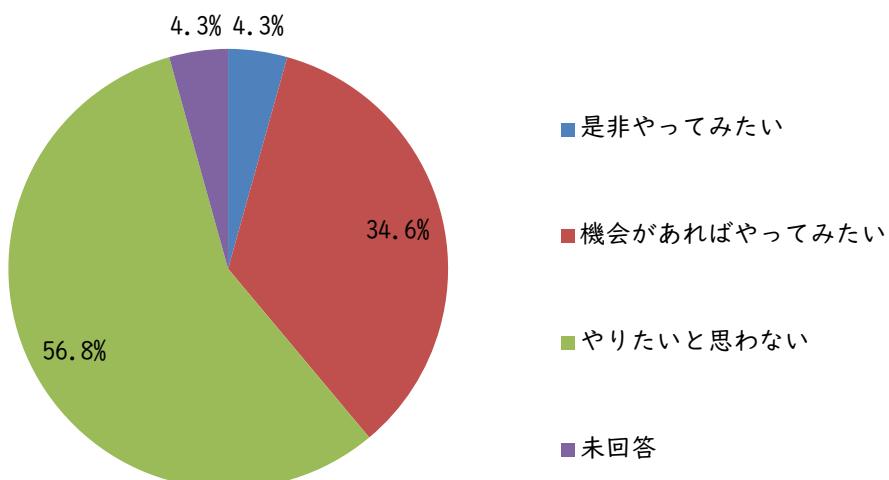
Q21 女子サッカーの普及、育成等の環境づくりを推進するために何が必要だと思いますか。
(3つまで)



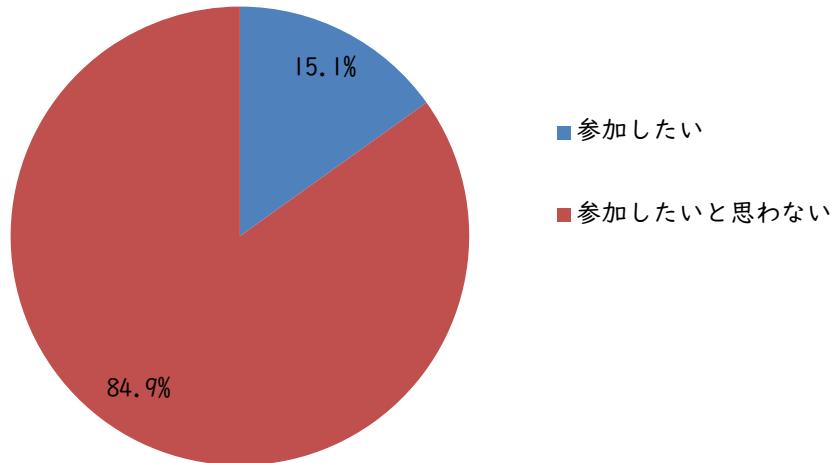
Q22 あなたはeスポーツサッカーを知っていますか。またやったことがありますか。



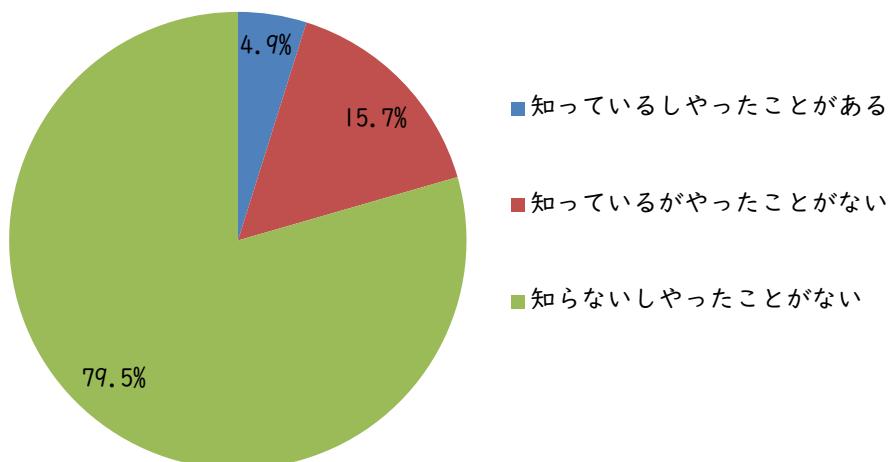
Q23 あなたは今後eスポーツサッカーをやってみたいと思いますか。



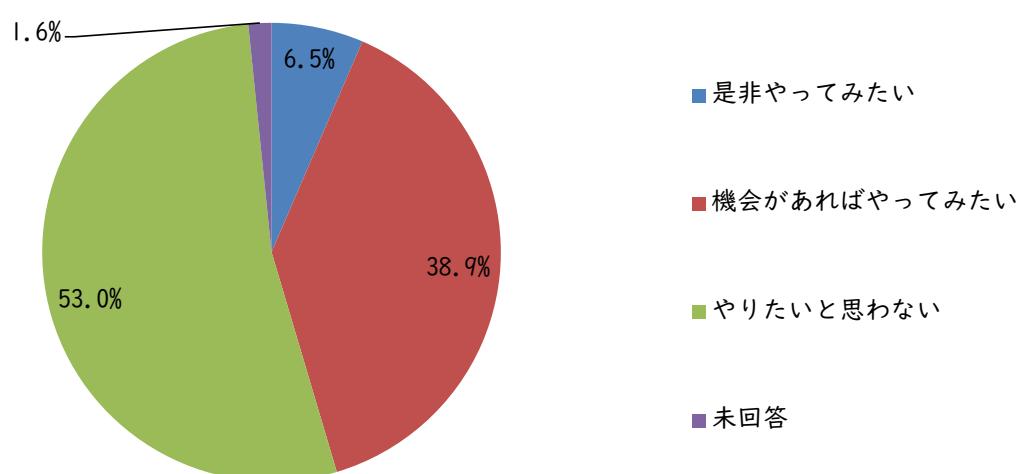
Q24 今後eスポーツサッカーの大会を実施した場合、参加したいと思いますか。



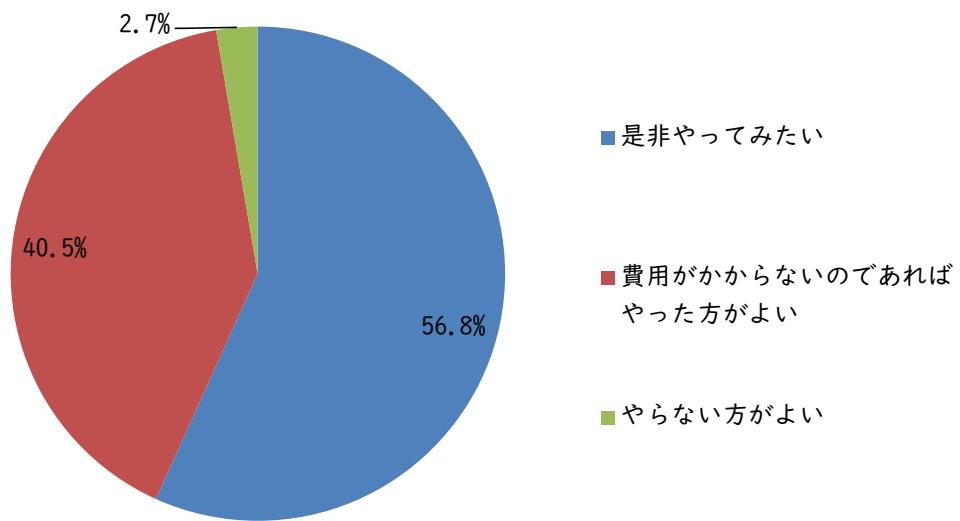
Q25 現在本市や（一社）藤枝市サッカー協会では、歩くサッカー「ウォーキングサッカー」の普及に取り組んでいます。
あなたはウォーキングサッカーを知っていますか。またやったことがありますか。



Q26 今後ウォーキングサッカーをやってみたいと思いますか。

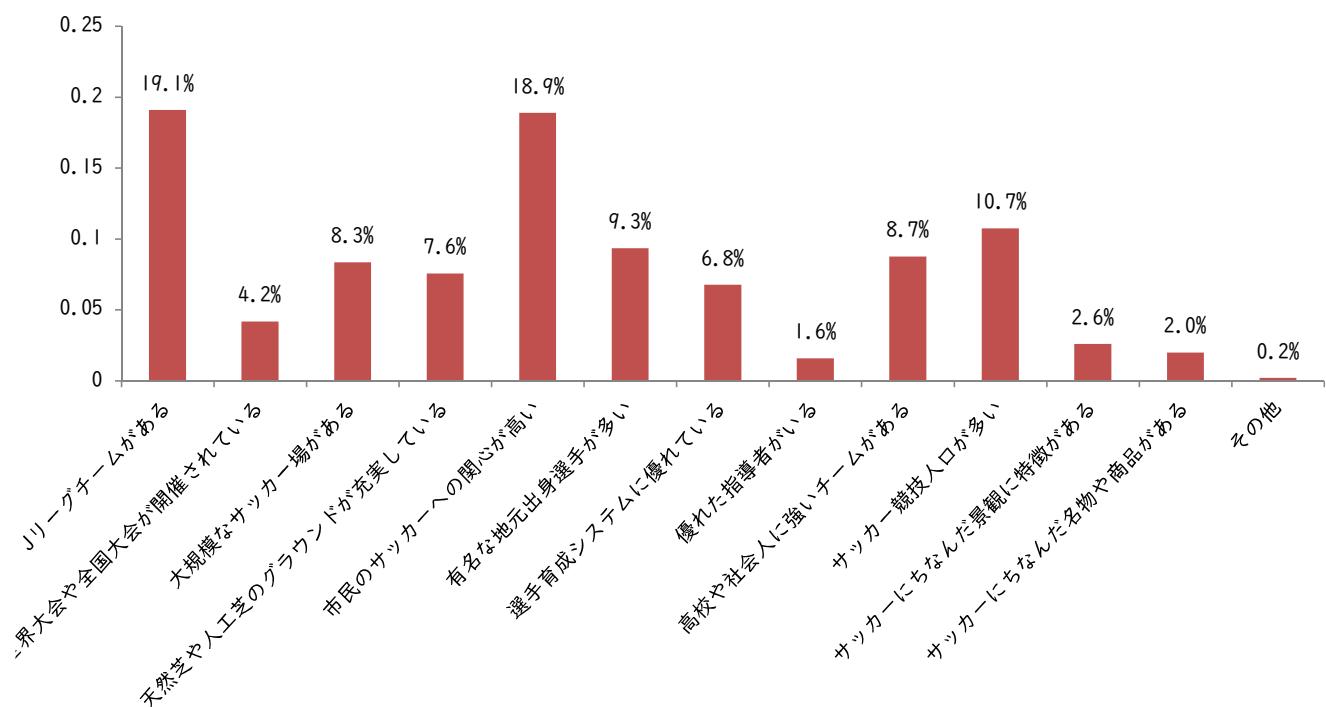


Q27 現在ドイツブンデスリーガのチームで長谷部誠さんも所属しているアイントロハト・フランクフルトの日本支部のチーム（中学生）が本市で活動しています。これを機にアイントロハト・フランクフルトとの国際交流を行っていくことについて、あなたはどう思いますか。

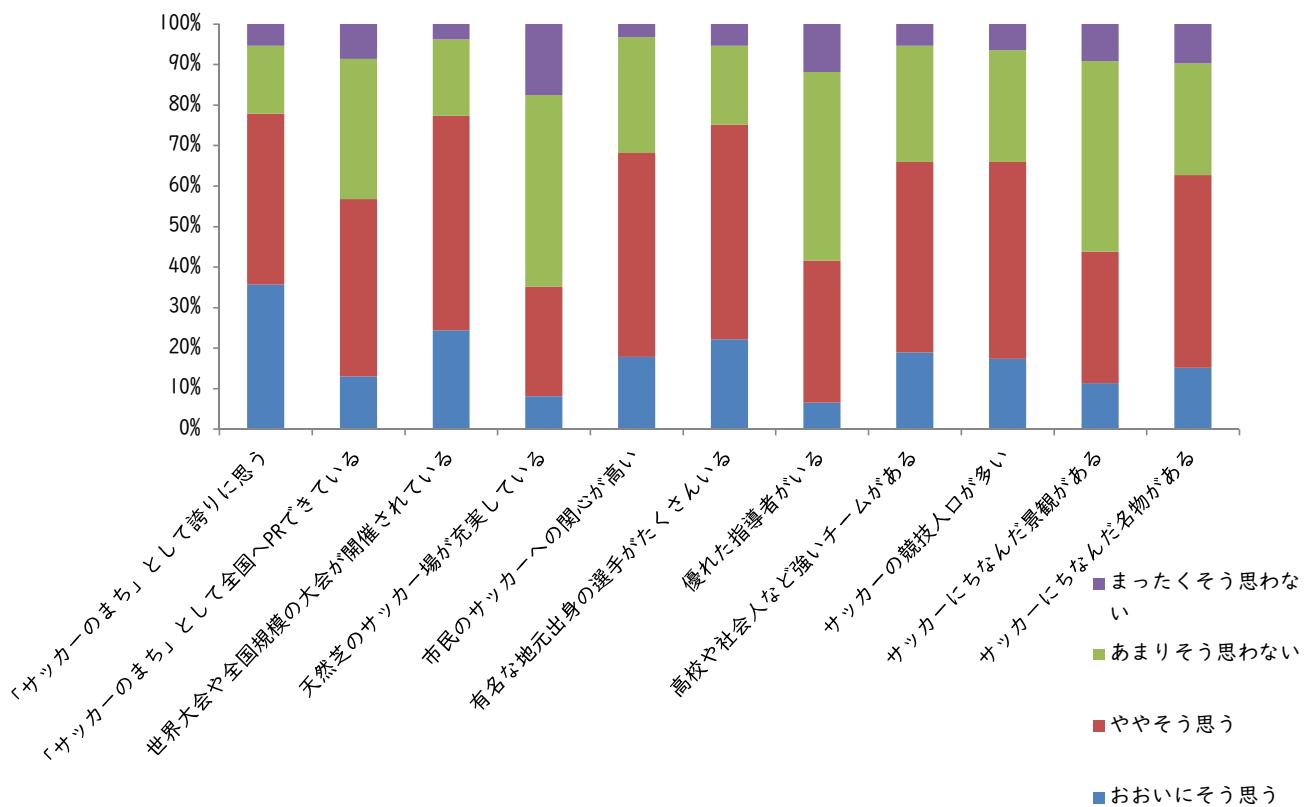


<「サッカーのまち藤枝」について>

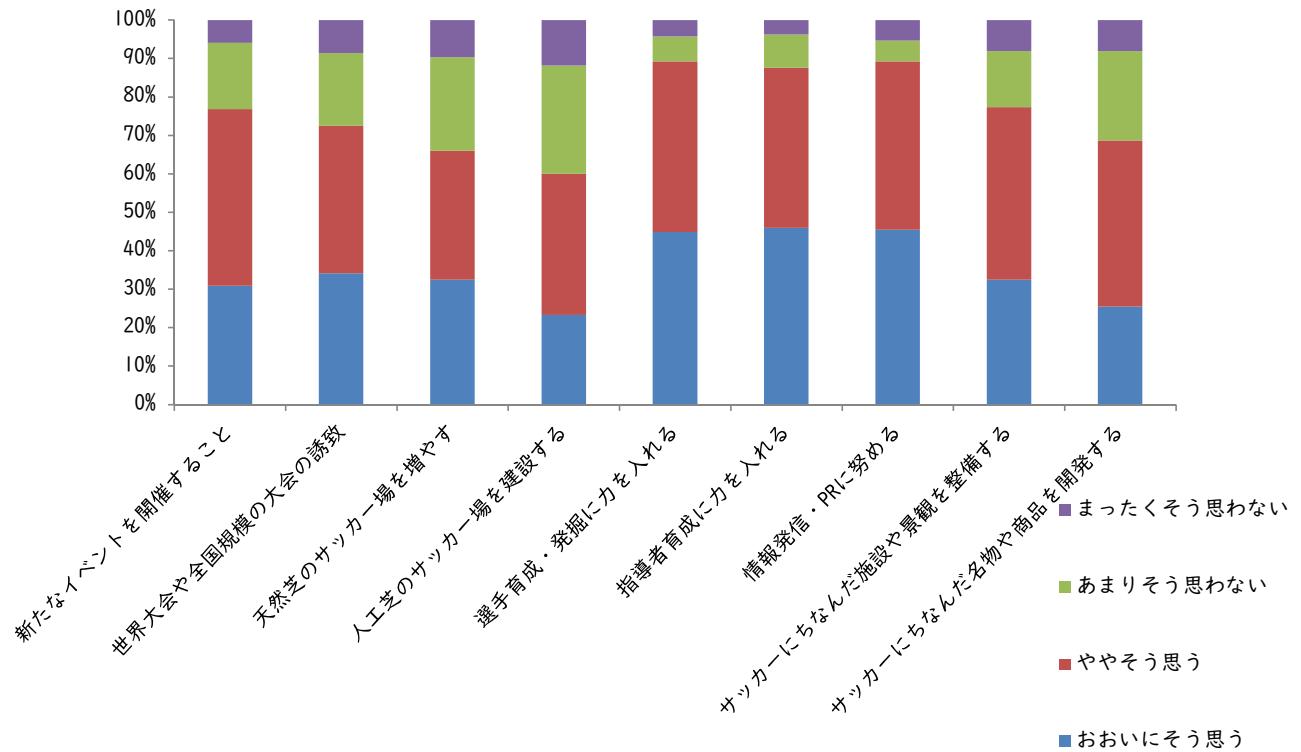
Q28 あなたは「サッカーのまち」をどのようにイメージしますか（3つまで）



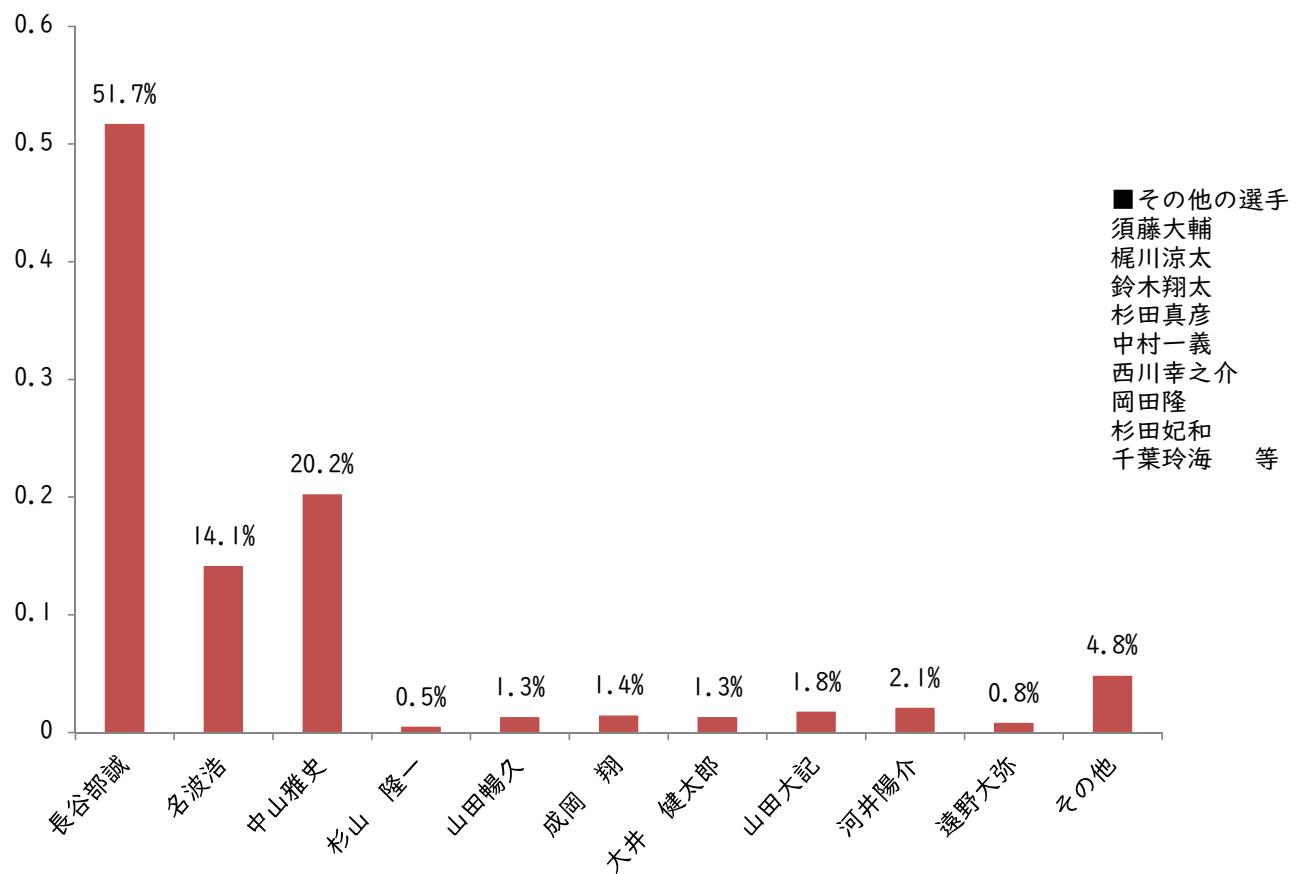
Q29 「サッカーのまち藤枝」についてどのように感じていますか



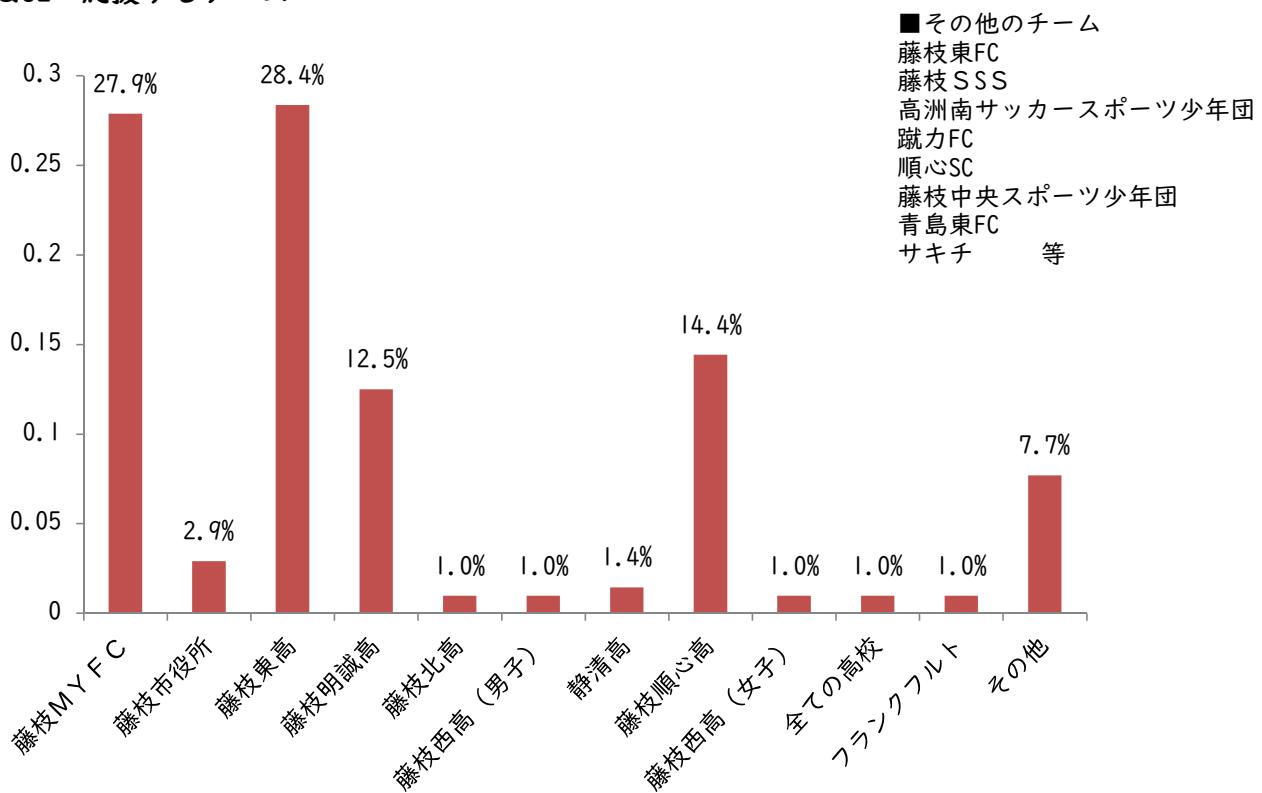
Q30 「サッカーのまち藤枝」を推進するために、力を入れるべきだと思いますか



Q31 藤枝ゆかりの好きなサッカー選手



Q32 応援するチーム



《参考資料》
計画策定組織名簿

サッカーのまち藤枝懇談会

氏名		所属	備考
○	加藤 訓義	学識経験	スポーツライター
	鎌田 昌治	学識経験	株式会社 藤枝MYFC 会長
	成岡 翔	学識経験	株式会社 ラボーナ (ジュビロ磐田、アルビレックス新潟、藤枝MYFC等で活躍した元Jリーガー)
	臼井 郁夫	特定非営利活動法人 藤枝市スポーツ協会	特定非営利活動法人 藤枝市スポーツ協会より選出
	岸 登志満	藤枝市サッカー協会	藤枝市サッカー協会より選出
	山田 壽久	藤枝商工会議所	藤枝商工会議所より選出
	夏目 香織	藤枝市校長会	藤枝市校長会より選出
	田村 和彦	一般	藤枝市サッカー協会 2種 委員長 (静清高等学校サッカー部監督)
	渡邊 亜紀	一般	NPO法人JUNSHIN SPORTS CLUB 理事長
	成川 雄士	一般	ハセベスポーツクラブ スクールマスター

※○印は座長

スポーツ推進審議会

氏名		所属	備考
○	臼井 郁夫	特定非営利活動法人 藤枝市スポーツ協会	学識経験のある者
	西尾 敏晴	自治会連合会	学識経験のある者
	大石 博幸	NPO法人大洲スポーツクラブ	学識経験のある者
	朝比奈友見	スポーツ推進委員会	学識経験のある者
	塚本 博之	静岡産業大学	学識経験のある者
	小川 毅	藤枝市校長会	学識経験のある者
	嶋津 正宏	志太医師会	学識経験のある者
	下田 良子	藤枝市健康推進課	関係行政機関の職員

※○印は会長

《参考資料》

サッカーのまち藤枝ドリームプラン策定委員会 委員名簿

所 属	課 名	役 職	名 前
企画創生部	企画政策課	企画政策課長	江坂 祐哉
	広域連携課	広域連携担当理事	三田 雅也
	広報課長	広報課	岸本 倫子
	情報デジタル推進課	情報デジタル推進課長	田中 範明
市民協働部	協働政策課長	協働政策課長	小山 佳世
入ホーツ文化観光部	観光交流政策課	観光交流政策課長	大久保 幸廣
健康福祉部	障害福祉課	障害福祉課長	戸塚 勝彦
健康福祉部 子ども未来応援局	こども課	こども課長	青嶋 和徳
健康福祉部 健やか推進局	健康企画課	健康企画課長	花澤 澄子
産業振興部	産業政策課	産業政策課長	水田 伸一
	お茶のまち推進室	お茶のまち推進室長	永井 克俊
	商業振興課	商業振興課長	大石 好美
都市建設部	中心市街地活性化推進課	中心市街地活性化推進課長	岡村 敏明
	花と緑の課	花と緑の課長	笛田 紀子
都市建設部 基盤整備局	建設管理課	建設管理課長	永田 勝巳
教育部	教育政策課	教育政策課長	金原 雅之
		主席指導主事	道越 洋美
事務局	サッカーのまち推進室	サッカーのまち推進室長	伊原 雄人
		推進係長兼Jリーグ担当係長	海野 創
		主事	藤田 大成

《参考資料》

サッカーのまち藤枝ドリームプラン策定部会 委員名簿

部・局	課・室	役 職	氏 名
企画創生部	企画政策課	主幹兼企画政策係長	山口 雅義
	広域連携課	連携・定住推進係長	榎本 哲大
	広報課	広報戦略推進担当係長	大井 厚人
	情報デジタル推進課	DX推進係長	杉本 雄亮
市民協働部	協働政策課	主幹兼地域協働推進係長	茂木 啓輔
スポーツ文化観光部	観光交流政策課	主幹兼観光政策係長	小澤 峰樹
	スポーツ振興課	主幹兼スポーツ推進係長	朝比奈 祐人
健康福祉部	障害福祉課	主幹兼障害者総合支援係長	大場 文敬
健康福祉部 子ども未来応援局	こども課	子育て政策係長	高橋 佑季
健康福祉部 健やか推進局	健康企画課	主幹兼健康企画担当係長	田代 啓子
産業振興部	産業政策課	主幹兼マーケティング担当係長	朝比奈 慎太郎
	お茶のまち推進室	主幹兼お茶のまち推進係長	宮崎 真一
	商業振興課	商業係長	西村 麻理
都市建設部	中心市街地活性化推進課	推進担当係長	近藤 智之
	花と緑の課	主幹兼花と緑の係長	奥川 真帆
都市建設部 基盤整備局	建設管理課	主幹兼管理係長	米村 雅伸
教育部	教育政策課	主幹兼教育政策係長	大石 朋晴
	教育政策課	主幹兼指導主事兼学習指導担当係長	岩本 知之
事務局	サッカーのまち推進室	サッカーのまち推進室長	伊原 雄人
		推進係長兼Jリーグ担当係長	海野 創
		主事	藤田 大成

《参考資料》

令和7年度（2025年度）藤枝市サッカー協会所属チーム

種別	チーム名	所属リーグ
1種 (社会人)	藤枝MYFC	日本プロサッカーリーグ2部（J2）
	藤枝市役所サッカーチーム	東海社会人サッカーリーグ1部
	ウィンターリア藤枝FC	静岡県社会人サッカーリーグ1部
	FC・FARRAGO	静岡県社会人サッカーリーグ2部
	パイシャオンFC	静岡県社会人サッカーリーグ3部
	Q. P. R	静岡県社会人サッカーリーグ3部
	JIOVINEZZA	中西部社会人サッカーリーグ1部
	藤枝東FC志太サッカーチーム	中西部社会人サッカーリーグ1部
	スクラッチヒューストン	中西部社会人サッカーリーグ1部
	瀬戸谷サッカーチーム	中西部社会人サッカーリーグ1部
	FCサンロード	中西部社会人サッカーリーグ2部
	FC Loco	中西部社会人サッカーリーグ2部
	ARCADIA. SS	中西部社会人サッカーリーグ2部
2種	藤枝東高校サッカーチーム	
	藤枝北高校サッカーチーム	
	藤枝西高校サッカーチーム	
	藤枝明誠高校サッカーチーム	
	静清高校サッカーチーム	
	藤枝MYFCユース	
3種	藤枝中学校サッカーチーム	
	西益津中学校サッカーチーム	
	青島中学校サッカーチーム	
	高洲中学校サッカーチーム	
	大洲中学校サッカーチーム	
	青島北中学校サッカーチーム	
	広幡中学校サッカーチーム	
	葉梨中学校サッカーチーム	
	岡部中学校サッカーチーム	
	藤枝明誠スポーツクラブ	
	エスパルスサッカースクール藤枝	
	藤枝東FCジュニアユース	
	藤枝静清FCジュニアユース	
	SAKICHI FACTORY	
	Eintracht Frankfurt Academy Japan	

《参考資料》

令和7年度（2025年度）藤枝市サッカー協会所属チーム

種別	チーム名	所属リーグ
4種	藤枝サッカースポーツ少年団	
	藤枝中央サッカースポーツ少年団	
	Aojima Verdepino SC	
	青島東FC	
	TAKASU. SC	
	稻葉サッカースポーツ少年団	
	広幡サッカースポーツ少年団	
	高洲南サッカースポーツ少年団	
	藤枝明誠スポーツクラブ	
	岡部サッカースポーツ少年団	
	BANREYORE岡部SCジュニア	
	NPO藤枝東ジュニア	
	SAKICHI FACTORY	
	蹴力 HANASHI FC	
	藤枝順心SC	
女子	藤枝姉妹FC	
	藤枝西高女子サッカー部	
	藤枝順心高校サッカー部	
	藤枝順心SCジュニアユース	
	高洲中学校女子サッカー部	
	ルクレMYFC	
シニア	藤枝FC	静岡県シニアサッカーリーグ
	NPO藤枝東FCシニア	静岡県シニアサッカーリーグ

«参考資料»

サッカーのまち藤枝 栄光の歴史

大正13年 (1924年)	サッカーを志太中（現藤枝東高）の校技とする
大正15年 (1926年)	志太中蹴球部 創設
昭和9年 (1934年)	志太中主催の郡下小学校蹴球大会が始まる
昭和11年 (1936年)	松永行、笹野積次（志太中出身） 日本代表入り ベルリンオリンピックで松永行、笹野積次（志太中出身）が活躍
昭和17年 (1942年)	松永信夫（志太中出身） 日本代表入り
昭和22年 (1947年)	志太サッカークラブ 結成
昭和24年 (1949年)	藤枝町体育協会に蹴球部加盟（現藤枝市サッカー協会）
昭和26年 (1951年)	松永碩（志太中出身） 日本代表入り
昭和27年 (1952年)	第32回天皇杯全日本サッカー選手権大会 開催
昭和28年 (1953年)	第6回全日本実業団サッカー選手権大会 開催
昭和31年 (1956年)	第34回全国高校サッカー選手権大会 藤枝東高 初出場 第11回国民体育大会（兵庫県） 藤枝東高 準優勝
昭和32年 (1957年)	第35回全国高校サッカー選手権大会 藤枝東高 3位 第12回国民体育大会（静岡県）サッカー競技 開催 一般の部 志太サッカークラブ、高校の部 藤枝東高 共に優勝 昭和天皇皇后両陛下 藤枝東高にて国体をご観覧される
昭和33年 (1958年)	第38回天皇杯全日本サッカー選手権大会 開催
昭和34年 (1959年)	藤枝市役所サッカーチームが発足（部員30名） 第14回国民体育大会（東京都） 藤枝東高 3位 杉山隆一（現藤枝市在住） U-20日本代表入り
昭和35年 (1960年)	第38回全国高校サッカー選手権大会 藤枝東高 3位 海野勇、鈴木秀利（藤枝東高出身） U-20日本代表入り 鈴木秀利（藤枝東高出身） 日本代表入り
昭和36年 (1961年)	第39回全国高校サッカー選手権大会 藤枝東高 3位 第41回天皇杯全日本サッカー選手権大会 開催 杉山隆一（現藤枝市在住）、鈴木秀利（藤枝東高出身） U-20日本代表入り
昭和37年 (1962年)	山口芳忠（藤枝東高） U-20日本代表入り
昭和38年 (1963年)	第41回全国高校サッカー選手権大会 藤枝東高 初優勝 桑原勝義、井沢邦彦（藤枝東高出身）、小山益雄（藤枝北高出身） U-20日本代表入り 第18回国民体育大会（山口県） 一般の部 藤枝キッカーズ、高校の部 藤枝東高 共に3位 富沢清司（藤枝東高出身） 日本代表入り
昭和39年 (1964年)	第42回全国高校サッカー選手権大会 藤枝東高 優勝（2連覇） 山口芳忠（藤枝東高出身） 日本代表入り 東京オリンピック 山口芳忠、富沢清司（藤枝東高出身）、杉山隆一（現藤枝市在住）出場 松田幸男、堀江喜作（藤枝北高出身）、神戸勉（藤枝東高出身） U-20日本代表入り 全国で初めて、藤枝、西益津サッカースポーツ少年団が結成 第17回全日本実業団サッカー選手権大会 開催 第19回国民体育大会（新潟県） 藤枝東高 準優勝
昭和40年 (1965年)	第1回藤枝市サッカー祭 開催 桑原勝義（藤枝東高出身） 日本代表入り

サッカーのまち藤枝 栄光の歴史

昭和41年 (1966年)	第44回全国高校サッカー選手権大会 藤枝北高 初出場 全国高校総体（青森県） 藤枝東高 初優勝 第21回国民体育大会（大分県） 藤枝東高 優勝 松永章（藤枝東高） U-20日本代表入り
昭和42年 (1967年)	第45回全国高校サッカー選手権大会で藤枝東高が優勝し、高校サッカー初の三冠達成（総体、国体、選手権） 三浦孝一、桑原隆、沼野洋一朗、井沢千秋、山崎利夫（藤枝東高出身） U-20日本代表入り 藤枝市民グラウンド開設
昭和43年 (1968年)	メキシコオリンピック 山口芳忠、富沢清司（藤枝東高出身）、杉山隆一（現藤枝市在住）出場
昭和44年 (1969年)	第24回国民体育大会（長崎県） 藤枝東高 3位 菊川凱夫（藤枝東高出身） 日本代表入り 村松章隆（藤枝東高）、市川三雄（藤枝中出身） U-20日本代表入り
昭和45年 (1970年)	第6回全国社会人サッカー選手権大会 開催 碓井博行（藤枝東高） U-20日本代表入り 第4回全国サッカースポーツ少年団大会 全藤枝 優勝 第2回全国サッカーカーニバル 藤枝中央小 優勝 第1回全国中学校サッカー大会 西益津中 優勝 全国で初めて高校のサッカーフェスティバルを開催 藤枝市民グラウンドのスタンド完成
昭和46年 (1971年)	第49回全国高校サッカー選手権大会 藤枝東高 優勝 全国高校総体（徳島県） 藤枝東高 優勝 第2回全国中学校サッカー大会 藤枝中 準優勝 三浦孝一、井沢千秋（藤枝東高出身） 日本代表入り
昭和47年 (1972年)	池谷茂、堀井美晴（藤枝東高出身） U-20日本代表入り 第6回全国サッカースポーツ少年団大会 全藤枝 優勝 第4回全国サッカーカーニバル 藤枝小 優勝 第2回全国自治体職員サッカー選手権大会（大阪市） 藤枝市役所 準優勝 全国高校総体（山形県） 藤枝東高 3位
昭和48年 (1973年)	第51回全国高校サッカー選手権大会 藤枝東高 準優勝 滝井敏郎、大畠行男（藤枝東高出身）、中村一義（藤枝東高） U-20日本代表入り 第3回全国自治体職員サッカー選手権大会が藤枝市で開催され藤枝市役所初優勝 松永章（藤枝東高出身） 日本代表入り
昭和49年 (1974年)	第52回全国高校サッカー選手権大会 藤枝東高 準優勝 岡本勇、内藤洋介（藤枝東高出身） U-20日本代表入り 碓井博行（藤枝東高出身） 日本代表入り
昭和50年 (1975年)	第6回全国中学校サッカー大会 藤枝中 準優勝 第5回全国自治体職員サッカー選手権大会（五戸町） 藤枝市役所 準優勝 第1回関東・関西大学選抜対抗戦 開催
昭和51年 (1976年)	第6回全国自治体職員サッカー選手権大会（大分市） 藤枝市役所 準優勝 第2回関東・関西大学選抜対抗戦 開催 第53回早稲田大学・関西学院大学サッカーリーグ戦 開催 川口勝（青島中出身） U-20日本代表入り
昭和52年 (1977年)	第1回総理大臣杯全日本大学サッカートーナメント 開催 第7回全国自治体職員サッカー選手権大会（秋田市） 藤枝市役所 優勝 第3回関東・関西大学選抜対抗戦 開催 八木智嗣（広幡中出身） U-20日本代表入り 第8回全国中学校サッカー大会 藤枝中 準優勝

サッカーのまち藤枝 栄光の歴史

昭和53年 (1978年)	第2回総理大臣杯全日本大学サッカートーナメント 開催 藤枝市婦人体操教室の生徒、指導者が藤枝姉妹FCを創部 第9回全国中学校サッカー大会 藤枝中 準優勝 第4回関東・関西大学選抜対抗戦 開催 川口勝（青島中出身）日本代表入り 杉山誠、杉山実（藤枝中出身）U-20日本代表入り
昭和54年 (1979年)	第3回総理大臣杯全日本大学サッカートーナメント 開催 第10回全国中学校サッカー大会 藤枝中 優勝 第9回全国自治体職員サッカー選手権大会（浦和市）藤枝市役所 優勝 中村一義、堀井美晴（藤枝東高出身）日本代表入り
昭和55年 (1980年)	藤枝市役所サッカー部 東海リーグ昇格 第4回総理大臣杯全日本大学サッカートーナメント 開催 第11回全国中学校サッカー 藤枝中 優勝（2連覇） 第10回全国自治体職員サッカー選手権大会（益田市）藤枝市役所 優勝（2連覇） 宮本行宏（西益津中出身）U-20日本代表入り
昭和56年 (1981年)	第5回総理大臣杯全日本大学サッカートーナメント 開催 第11回全国自治体職員サッカー選手権大会（高松市）藤枝市役所 準優勝 宮本行宏（西益津中出身）日本代表入り 本間智恵子（現藤枝順心高出身）日本女子代表入り 藤枝市長旗争奪サッカー定期戦始まる 藤枝東高 対 藤枝北高
昭和57年 (1982年)	第12回全国自治体職員サッカー選手権大会（函館市）藤枝市役所 優勝（5回目） 西日本OBサッカー藤枝大会 開催
昭和58年 (1983年)	第13回全国自治体職員サッカー選手権大会（松本市）藤枝市役所 優勝（2連覇）
昭和59年 (1984年)	第5回全日本女子サッカー選手権大会 藤枝姉妹FC出場 第14回全国自治体職員サッカー選手権大会（名古屋市）藤枝市役所 優勝（3連覇） 石神良訓（西益津中出身）日本代表入り 加藤寿一（吉田中→藤枝東高）U-17日本代表入り
昭和60年 (1985年)	第63回全国高校サッカー選手権大会 藤枝東高 3位 第15回全国自治体職員サッカー選手権大会（姫崎市）藤枝市役所 優勝（4連覇） 小西理（藤枝東高出身）、池田司信（西益津中出身）日本代表入り
昭和61年 (1986年)	第16回全国自治体職員サッカー選手権大会（十和田市）藤枝市役所 準優勝 倉田安治（藤枝東高出身）日本代表入り 中山雅史（藤枝東高出身）U-20日本代表入り
昭和62年 (1987年)	第18回全国中学校サッカー大会が藤枝市で開催され、西益津中3位 第11回全日本少年サッカー大会 藤枝FCトレセン 準優勝 第17回全国自治体職員サッカー選手権大会（広島市）藤枝市役所 優勝
昭和63年 (1988年)	藤枝市役所サッカー部 日本サッカーリーグ2部昇格 中央防犯サッカークラブ 東海リーグ昇格 第18回全国自治体職員サッカー選手権大会（延岡市）藤枝市役所 準優勝 名波浩（西益津中出身）、永井克俊（藤枝東高）U-17日本代表入り
平成元年 (1989年)	第1回FIFA5人制室内サッカー世界選手権大会（オランダ）倉田安治（藤枝東高出身）出場 第25回全国社会人サッカー選手権大会 中央防犯サッカークラブ 優勝 第19回全国自治体職員サッカー選手権大会（高松市）藤枝市役所 優勝（10回目）
平成2年 (1990年)	高円宮杯第2回全日本ユース（U-15）サッカー選手権大会 藤枝中学校 優勝 第26回全国社会人サッカー選手権大会 中央防犯サッカー部 優勝（2連覇） 第20回全国自治体職員サッカー選手権大会（清水市）藤枝市役所 優勝（2連覇） 中山雅史（藤枝東高出身）日本代表入り 名波浩（西益津中出身）U-20日本代表入り 第6回全国JCサッカー選手権大会 開催

サッカーのまち藤枝 栄光の歴史

平成3年 (1991年)	中央防犯ACM藤枝フットボールクラブ 日本サッカーリーグ2部昇格 第21回全国自治体職員サッカー選手権大会（東京都） 藤枝市役所 優勝（3連覇） 全国高等学校総合体育大会 開催
平成4年 (1992年)	高円宮杯第3回全日本ユース（U-18）サッカー選手権大会 藤枝東高 優勝 第22回全国自治体職員サッカー選手権大会（中津市） 藤枝市役所 準優勝 中央防犯ACM藤枝フットボールクラブ 日本フットボールリーグ2部優勝 名波浩（西益津中出身） U-23日本代表入り
平成5年 (1993年)	中央防犯ACM藤枝フットボールクラブ 日本フットボールリーグ1部昇格 FIFAワールドカップ（アメリカ）アジア地区最終予選で、中山雅史（藤枝東高出身）が大活躍 第23回全国自治体職員サッカー選手権大会（石巻市） 藤枝市役所 優勝 山田暢久（藤枝東高） U-20日本代表入り
平成6年 (1994年)	第24回全国自治体職員サッカー選手権大会（千葉市） 藤枝市役所 準優勝
平成7年 (1995年)	第25回全国自治体職員サッカー選手権大会（室蘭市） 藤枝市役所 優勝 名波浩（西益津中出身） 日本代表入り 山田暢久（藤枝東高出身） U-23日本代表入り 山田智紀（藤枝中） U-17日本代表入り
平成8年 (1996年)	第26回全国自治体職員サッカー選手権大会（大垣市） 藤枝市役所 優勝（2年連続15回目） 第32回全国社会人サッカー選手権大会 藤枝市役所 3位 鷺巣延圭、片山知昭（藤枝東高） U-17日本代表入り
平成9年 (1997年)	渡辺毅（藤枝東高出身） 日本代表入り 第27回全国自治体職員サッカー選手権大会（福井県） 藤枝市役所（3連覇） 石川竜也（藤枝東高） U-20日本代表入り
平成10年 (1998年)	第76回全国高校サッカー選手権大会 藤枝東高 3位 第28回全国自治体職員サッカー選手権大会（Jヴィレッジ） 藤枝市役所優勝（4連覇） 高円宮杯第9回全日本ユース（U-18）サッカー選手権大会 藤枝東高 優勝 FIFAワールドカップ（フランス）に日本代表として中山雅史（藤枝東高出身）、名波浩（西益津中出身）が出場 名波浩（西益津中出身） 藤枝市スポーツ栄誉顕彰受賞 石井俊也（大洲中出身） U-23日本代表入り
平成11年 (1999年)	第10回FIFAワールドユース選手権大会（ナイジェリア）に石川竜也（藤枝東高出身）が出場し準優勝 石川竜也（藤枝東高出身） 藤枝市スポーツ栄誉顕彰受賞 第29回全国自治体職員サッカー選手権大会（札幌市） 藤枝市役所 優勝（5連覇） 第8回全日本高校女子サッカー選手権大会 藤枝西高 3位 山田暢久（藤枝東高出身） 日本代表入り 成岡翔（EWS FCジュニアユース→藤枝東高） U-17日本代表入り
平成12年 (2000年)	AFCアジアカップ2000 名波浩（西益津中出身） 出場し優勝 大会MVP 第30回全国自治体職員サッカー選手権大会（倉敷市） 藤枝市役所 優勝（6連覇）
平成13年 (2001年)	全国高校総体 藤枝東高 準優勝 第10回全日本高校女子サッカー選手権大会 藤枝西高 3位 遠山さゆり（藤枝西高） U-20日本女子代表入り 大井健太郎（藤枝東高） U-17日本代表入り 赤星貴文（清水エスパルスジュニアユース→藤枝東高）、長原克弥（ヤマハジュビロ掛川→藤枝東高） U-17日本代表入り FIFAコンフェデレーションズカップ2001 中山雅史（藤枝東高出身）出場 準優勝

サッカーのまち藤枝 栄光の歴史

平成14年 (2002年)	藤枝総合運動公園オープン セネガル共和国代表 FIFAワールドカップ（日本・韓国共催）事前キャンプ5/16～22 セネガル共和国代表 対 柏レイソルの親善試合 セネガル共和国代表 FIFAワールドカップ（日本・韓国共催）ベスト8進出 FIFAワールドカップ（日本・韓国共催）中山雅史（藤枝東高出身）出場 ベスト16進出 第38回全国社会人サッカー選手権大会 開催 第32回全国自治体職員サッカー選手権大会（日立市） 藤枝市役所 優勝（20回目） 成岡翔、大井健太郎（藤枝東高） U-20日本代表入り
平成15年 (2003年)	第33回全国自治体職員サッカー選手権大会（帯広市） 藤枝市役所 優勝（2連覇） 第58回国民体育大会 サッカー競技 成年男子の部 開催 成岡翔、大井健太郎（藤枝東高） U-23日本代表入り 長谷部誠（藤枝東高出身） U-20日本代表入り 原田圭輔（札幌ジュニアFCユース→藤枝東高） U-17日本代表入り 佐野弘子（藤枝西高→藤枝FCアミーガ出身） 日本女子代表入り FIFAワールドユース選手権UAE2003に成岡翔（藤枝東高出身）出場
平成16年 (2004年)	第34回全国自治体職員サッカー選手権大会 藤枝市で開催され藤枝市役所 優勝（3連覇） AFC U-17サッカー選手権大会2004 開催 高円宮杯第15回全日本ユース(U-18)サッカー選手権大会 開催 岸佑亮、鈴木崇記（藤枝東高） U-17日本代表入り 佐藤シェンネン（藤枝西高出身） U-20日本女子代表入り
平成17年 (2005年)	第4回全国シニア（50歳以上）サッカー大会 開催 高円宮杯第16回全日本ユース(U-18)サッカー選手権大会 開催 杉山紫乃（藤枝順心高） U-20日本女子代表入り 興山このみ（藤枝フットボールクラブ出身） U-17日本女子代表入り 杉山隆一（現藤枝市在住） 日本サッカー殿堂入り
平成18年 (2006年)	第15回全日本高校女子サッカー選手権大会 藤枝順心高 優勝 第36回全国自治体職員サッカー選手権大会（島原市） 藤枝市役所 優勝 高円宮杯第17回全日本ユース(U-18)サッカー選手権大会 開催 高円宮杯第18回全日本ユース(U-15)サッカー選手権大会 開催 長谷部誠（藤枝東高出身） 日本代表入り
平成19年 (2007年)	第10回全日本女子ユース(U-18)サッカー選手権大会 藤枝順心高 3位 第37回全国自治体職員サッカー選手権大会（山形市） 藤枝市役所 優勝（2連覇） 高円宮杯第18回全日本ユース(U-18)サッカー選手権大会 開催 山口芳忠（藤枝東高出身） 日本サッカー殿堂入り 興山このみ（藤枝フットボールクラブ出身） U-20日本女子代表入り 第86回全国高校サッカー選手権大会 県大会決勝43年ぶり藤枝ダービー 藤枝東高 対 藤枝明誠高 河井陽介（藤枝東高） U-20日本代表入り 高野沙希（FCヴィトーリア→藤枝順心高） U-17日本女子代表入り FIFAクラブワールドカップ（トヨタカップ） 浦和レッズの山田暢久・長谷部誠（藤枝東高出身） 3位
平成20年 (2008年)	第86回全国高校サッカー選手権大会 藤枝東高準優勝 34年ぶり決勝進出 なでしこジャパンキャンプ 藤枝東高サッカー部 藤枝市スポーツ栄誉顕彰受賞 第8回全国シニア（60歳以上）サッカー大会 開催 シニア（70歳以上）サッカーフェスティバル 開催 第38回全国自治体職員サッカー選手権大会（出雲市） 藤枝市役所 優勝（3年連続25回目） 高円宮杯第19回全日本ユース(U-18)サッカー選手権大会 開催 キリンサッカーフィールド2008サッカー教室 開催 村松大輔（藤枝東高出身） U-20日本代表入り

サッカーのまち藤枝 栄光の歴史

平成21年 (2009年)	第12回全日本女子ユース(U-18)サッカー選手権大会 藤枝順心高 3位 なでしこジャパン&U-19日本女子代表キャンプ 第39回全国自治体職員サッカー選手権大会(前橋市) 藤枝市役所 準優勝 高円宮杯第20回全日本ユース(U-18)サッカー選手権大会 開催 日本スポーツマスターズ2009富士山静岡大会 サッカー競技 開催
平成22年 (2010年)	村松大輔(藤枝東高出身) 日本代表入り 宝くじスポーツフェア・ドリームサッカー～日本代表OBがやってくる！～開催 第10回全国シニア(60歳以上)サッカー大会 開催 シニア(70歳以上)サッカーフェスティバル 開催 FIFAワールドカップ(南アフリカ共和国) 長谷部誠(藤枝東高出身)出場 ベスト16進出 長谷部誠(藤枝東高出身) 藤枝市スポーツ栄誉顕彰受賞 高円宮杯第21回全日本ユース(U-18)サッカー選手権大会 開催 FIFA U-17女子ワールドカップ(トリニダード・トバゴ) 横本芹菜(藤枝順心高)、川島はるな(藤枝FC出身) 出場 準優勝 第26回全国JCサッカー選手権大会 開催 第40回全国自治体職員サッカー選手権大会(松山市) 藤枝市役所 優勝(26回目) 自治体職員シニアサッカーフェスティバル2010 開催 全国地域サッカーリーグ決勝大会 開催 第32回全日本女子サッカー選手権大会 開催
平成23年 (2011年)	AFCアジアカップ(カタール) 長谷部誠(藤枝東高出身)日本代表キャプテンとして出場し優勝 長谷部誠チャリティイベントIN FUJIEDA～PASS THE MESSAGE～ 開催 第10回全国シニア(50歳以上)サッカー大会 開催 shizuoka.藤枝MYFC 全国社会人サッカー選手権大会 3位 自治体職員シニアサッカーフェスティバル2011 開催 第33回全日本女子サッカー選手権大会 開催
平成24年 (2012年)	第9回全日本知的障害者サッカー選手権大会 開催 日本フットボールリーグ(藤枝MYFC) 開催 第12回全国シニア(60歳以上)サッカー大会 開催 シニア(70歳以上)サッカーフェスティバル 開催 ロンドンオリンピック 村松大輔(藤枝東高出身) 出場 4位 第41回全国自治体職員サッカー選手権大会(堺市) 藤枝市役所 優勝(2年連続27回目) 自治体職員シニアサッカーフェスティバル2012 開催 皇后杯第34回全日本女子サッカー選手権大会 開催
平成25年 (2013年)	第10回全日本知的障害者サッカー選手権大会 開催 日本フットボールリーグ(藤枝MYFC) 開催 第12回全国シニア(50歳以上)サッカー大会 開催 第18回全日本女子ユース(U-15)サッカー選手権大会 藤枝順心サッカークラブジュニアユースブルー 初優勝 第1回藤枝シニア草サッカー大会 開催 自治体職員シニアサッカーフェスティバル2013 開催 藤枝MYFC Jリーグ準加盟承認され、J3リーグへ参入決定 皇后杯第35回全日本女子サッカー選手権大会 開催 FIFAコンフェデレーションズカップ(ブラジル) 長谷部誠(藤枝東高出身) 出場 山田大記(藤枝東高出身) 日本代表入り 北原佳奈(藤枝順心高出身) 日本女子代表入り
平成26年 (2014年)	第22回全日本高等学校女子サッカー選手権大会 藤枝順心高 準優勝 J3リーグ開幕 藤枝MYFC 第14回全国シニア(60歳以上)サッカー大会 開催 シニア(70歳以上)サッカーフェスティバル 開催 第43回全国自治体職員サッカー選手権大会(七尾市) 藤枝市役所 優勝 第2回藤枝シニア草サッカー大会 開催 自治体職員シニアサッカーフェスティバル2014 開催 皇后杯第36回全日本女子サッカー選手権大会 開催 U-17女子ワールドカップ(コスタリカ) 杉田妃和・児野楓香(藤枝順心高)出場 優勝 FIFAワールドカップ(ブラジル) 長谷部誠(藤枝東高出身) 日本代表キャプテンとして出場

サッカーのまち藤枝 栄光の歴史

平成27年 (2015年)	第23回全日本高等学校女子サッカー選手権大会 藤枝順心高校 第3位 第12回全日本知的障害者サッカー選手権大会 開催 J3リーグ（藤枝MYFC） 開催 第14回全国シニア（50歳以上）サッカー大会 開催 FIFA女子ワールドカップ（カナダ） 北原佳奈（藤枝順心高出身） 出場 準優勝 第44回全国自治体職員サッカー選手権大会（旭川市） 藤枝市役所 優勝 第3回藤枝シニア草サッカー大会 開催 自治体職員シニアサッカーフェスティバル2015 開催 皇后杯第37回全日本女子サッカー選手権大会 開催 高畠志帆（藤枝順心高出身） 日本女子代表入り
平成28年 (2016年)	第24回全日本高等学校女子サッカー選手権大会 藤枝順心高校 優勝 第1回全国知的障害特別支援学校高等部サッカー選手権 開催 U-16日本代表合宿 開催 J3リーグ（藤枝MYFC） 開催 全国高等学校総合体育大会サッカー競技大会（女子） 藤枝順心高校 初優勝 第45回全国自治体職員サッカー選手権大会（鹿児島市） 藤枝市役所 優勝 長谷部誠（藤枝東高出身） 日本代表100試合出場達成 第4回藤枝シニア草サッカー大会 開催 U-17女子ワールドカップ（ヨルダン） 千葉玲海菜（藤枝順心高） 出場 準優勝 皇后杯第38回全日本女子サッカー選手権大会 開催 第4回全国シニア（40歳以上）サッカー大会 開催 U-20女子ワールドカップ（パプアニューギニア） 杉田妃和・河野朱里（藤枝順心高出身） 出場 第3位
平成29年 (2017年)	第2回全国知的障害特別支援学校高等部サッカー選手権 開催 J3リーグ（藤枝MYFC） 開催 第17回全国シニア（60歳以上）サッカー大会 開催 シニア（70歳以上）サッカーフェスティバル 開催 全国高等学校総合体育大会サッカー競技大会（女子） 藤枝順心高校 準優勝 第46回全国自治体職員サッカー選手権大会（伊勢市） 藤枝市役所 優勝 第5回藤枝シニア草サッカー大会 開催 自治体職員シニアサッカーフェスティバル2017 開催 皇后杯第39回全日本女子サッカー選手権大会 開催
平成30年 (2018年)	第26回全日本高等学校女子サッカー選手権大会 藤枝順心高校 優勝 第3回全国知的障害特別支援学校高等部サッカー選手権 開催 J3リーグ（藤枝MYFC） 開催 FIFAワールドカップ（ロシア） 長谷部誠（藤枝東高出身） 日本代表キャプテンとして出場し、チームをベスト16へ導く JFA第17回全日本0-50サッカー大会 開催 全国高等学校総合体育大会サッカー競技大会（女子） 藤枝順心高校 3位 第47回全国自治体職員サッカー選手権大会（別府市） 藤枝市役所 優勝 FIFAU-20女子ワールドカップ（フランス） 児野楓香・福田まい・福田ゆい（藤枝順心高出身） 出場 優勝 第6回藤枝シニア草サッカー大会 開催 自治体職員シニアサッカーフェスティバル2018 開催 FIFAU-17女子ワールドカップ（ウルグアイ） 長江伊吹（藤枝順心高） 出場 皇后杯第40回皇后杯全日本女子サッカー選手権大会 開催 坂口萌乃、杉田妃和（藤枝順心高出身） 日本女子代表入り
令和元年 (2019年)	第4回全国知的障害特別支援学校高等部サッカー選手権 開催 J3リーグ（藤枝MYFC） 開催 JFA第19回全日本0-60サッカー大会 開催 JFA第13回0-70サッカーオープン大会 開催 FIFA女子ワールドカップ（フランス） 杉田妃和（藤枝順心高出身） 出場 ベスト16 第48回全国自治体職員サッカー選手権大会（Jヴィレッジ） 藤枝市役所 優勝 第7回藤枝シニア草サッカー大会 開催 自治体職員シニアサッカーフェスティバル2019 開催 皇后杯JFA第41回全日本女子サッカー選手権大会 1、3回戦 開催

サッカーのまち藤枝 栄光の歴史

令和2年 (2020年)	第28回全日本高等学校女子サッカー選手権大会 藤枝順心高校 優勝 第5回全国知的障害特別支援学校高等部サッカー選手権 開催 J3リーグ（藤枝MYFC） 開催 JFA第19回全日本0-50サッカー大会 開催 杉田妃和（藤枝順心高出身） 日本女子代表入り
令和3年 (2021年)	第29回全日本高等学校女子サッカー選手権大会 藤枝順心高校 優勝 J3リーグ（藤枝MYFC） 開催 第32回オリンピック競技大会（2020/東京） 杉田妃和（藤枝順心高出身） 出場 ベスト8 全国高等学校総合体育大会サッカー競技大会（女子） 藤枝順心高校 準優勝 JFA第9回全日本0-40サッカー大会 開催 皇后杯JFA第43回全日本女子サッカー選手権大会 1、3回戦 開催
令和4年 (2022年)	第30回全日本高等学校女子サッカー選手権大会 藤枝順心高校 第3位 J3リーグ（藤枝MYFC） 開催 2位 J2昇格 FIFAU-20女子ワールドカップ（コスタリカ） 長江伊吹（藤枝順心高） 出場 準優勝 FIFAU-17女子ワールドカップ（インド） 久保田真生・高岡澪・辻澤亜唯（藤枝順心高） 出場 ベスト8 JFA 第10回全日本0-40サッカー大会 開催 皇后杯JFA第44回全日本女子サッカー選手権大会 1、4回戦 開催 杉田妃和・千葉玲海菜（藤枝順心高出身） 日本女子代表入り
令和5年 (2023年)	第31回全日本高等学校女子サッカー選手権大会 藤枝順心高校 優勝 J2リーグ（藤枝MYFC） 開催 12位 JFA 第22回全日本0-50サッカー大会 開催 FIFA女子ワールドカップ（オーストラリア&ニュージーランド） 杉田妃和・千葉玲海菜（藤枝順心高出身） 出場 ベスト8 全国高等学校総合体育大会サッカー競技大会（女子） 藤枝順心高校 優勝 第49回全国自治体職員サッカー選手権大会（ひたちなか市） 藤枝市役所 優勝 自治体職員シニアサッカーフェスティバル2023 開催 皇后杯JFA第45回全日本女子サッカー選手権大会 2、4回戦 開催 杉田妃和・千葉玲海菜（藤枝順心高出身） 日本女子代表入り
令和6年 (2024年)	サッカーのまち100周年を迎える 1924年（大正13年）より 第32回全日本高等学校女子サッカー選手権大会 藤枝順心高校 優勝 サッカーのまち100周年記念セレモニー実施 J2リーグ（藤枝MYFC） 開催 13位 藤枝市特設サッカーミュージアム開設 第50回全国自治体職員サッカー選手権大会（藤枝市） 開催 藤枝市役所 優勝 全国高等学校総合体育大会サッカー競技大会（女子） 藤枝順心高校 優勝 自治体職員シニアサッカーフェスティバル2024 開催 皇后杯JFA第46回全日本女子サッカー選手権大会 2、4回戦 開催 市制施行70周年・サッカーのまち100周年グランドフィナーレ「フジイロフェス」 開催
令和7年 (2025年)	第33回全日本高等学校女子サッカー選手権大会 藤枝順心高校 優勝 J2リーグ（藤枝MYFC） 開催 ○○位 JFA 第25回全日本0-60サッカー大会・第19回全日本0-70サッカー大会 開催 第51回全国自治体職員サッカー選手権大会（那覇市） 藤枝市役所 優勝 宝くじスポーツフェア・ドリームサッカー～日本代表OBがやってくる！～開催 自治体職員シニアサッカーフェスティバル2025 開催 静岡ゴールデンサッカーアカデミー2025 開催 皇后杯JFA第47回全日本女子サッカー選手権大会 2回戦 開催 2025 SBSカップ国際ユースサッカー 開催

サッカーのまち藤枝ドリームプラン2026

～ 球都市NEXT100 SINCE1924～

発行日：令和8年3月

発行者：静岡県藤枝市

編 集：スポーツ文化観光部 サッカーのまち推進室

〒426-8722 藤枝市岡出山一丁目11番1号

TEL 054-643-3138 FAX 054-643-3327

E-mail soccer@city.fujieda.shizuoka.jp

ホームページ <https://www.city.fujieda.shizuoka.jp>
